予算決算審査委員会報告書

令和5年3月16日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和5年3月16日に委員会を開催したので、次のとおり議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第1号 令和5年度備前市一般会計予算（総務）	継続審査	—
議案第16号 令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）（総務）	継続審査	—
議案第57号 令和4年度備前市一般会計補正予算（第13号）（総務）	継続審査	—
報告第1号 専決処分（専決第6号 令和4年度備前市一般会計補正予算（第11号））の承認を求めることについて	継続審査	—

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第16号の審査（前半）	2
議案第57号の審査（前半）	11
議案第1号の審査（前半）	11
報告第1号の審査	34
議案第16号の審査（後半）	35
議案第1号の審査（後半）	39
閉会	51

前半：市長公室、総合政策部、総合支所部

後半：総務部、会計課、監査委員事務局

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和5年3月16日（木）		午後1時30分	
開議・閉議	午後1時32分	開会　～	午後6時51分	閉会
場 所 ・ 形 態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	中西裕康		尾川直行
		立川　茂		西上徳一
		石原和人		山本　成
		青山孝樹		藪内　靖
		松本　仁		内田敏憲
		奥道光人		丸山昭則
欠 席 委 員		土器　豊		
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	市長公室長	藤田政宣	秘書課長	吉田祐介
	広聴広報課長	則枝勇人		
	総合政策部長	梶藤　勲	企画課長	馬場敬士
	ふるさと納税課長	桑原淳司	危機管理課長	青木克行
	事業推進課長	國光裕一郎		
	総務部長	今脇典子	総務課長	春森弘晃
	財政課長	榮　研二	契約管財課長	岸本豊弘
	税務課長	木和田純一	デジタル推進課長	行正英仁
	総合支所部長	杉田和也	吉永総合支所長	江見清人
	三石総合支所管理課長	瀬尾茂樹	日生総合支所管理課長	横谷美加
	会計管理者	三宅貴夫	監査委員事務局長	岡　育利
	市民生活部長	濱山一泰	市民課長	藤森仁美
傍 聴 者	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午後1時32分 開会

○森本委員長 皆さん、こんにちは。

ただいまの御出席は14名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会いたします。

本日は前半に市長公室、総合政策部、総合支所部を、後半に総務部、会計課、監査委員事務局の審査を行います。

また、4議案の審査を行いますことから、議事の運営に格別の御協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、専決第6号令和4年度備前市一般会計補正予算（第11号）、議案第16号令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）、議案第57号令和4年度備前市一般会計補正予算（第13号）、議案第1号令和5年度備前市一般会計予算のうち総務関係の審査を行います。

***** 議案第16号の審査（前半） *****

それでは、まず初めに、議案第16号令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）の審査を行います。

第11号は後半で行いますので、前半は第16号から始めます。

予算書の24ページを開いてください。所管別分類表は3ページをお開きください。24ページです。補正予算書は24ページ、所管別分類表は3ページです。

なお、昨日の産業関係審査中に、土木費国庫補助金の河川総務費補助金、社会資本整備総合交付金について危機管理の所管という答弁をいただいておりますので、当該箇所については本日で質疑をお願いいたします。

それでは、審査範囲は24ページから、24ページの県支出金、2県補助金の8目消防費県補助金から25ページまで、財産収入まで範囲といたします。

○立川委員 25ページの1節の水防費補助金、46万4,000円返上していますが、県防災まちづくり総合支援事業、教えてもらえたら。

50万円、4割近いカットなんで、事情についても御説明いただけたらと思います。

○青木危機管理課長 後ほど歳出でも出てきますけども、自主防災組織活動事業助成金の市が払った分の国、県からの補助金であります。実績が見込みより少なかったために、それに合わせて補助金も減額しているものであります。

こんだけ減った原因というのは、当初たくさん見込んでいたということと、もう少しコロナの影響があったのかなと考えております。

○立川委員 防災組織ができなかったからお返ししましたということですね、端的に言えば。

○青木危機管理課長 防災組織ができたとかじゃなくて、自主防災組織で避難訓練とか、そういった活動が少なかったということでございます。

○立川委員 我々も自主防災で防災訓練もしたんですけど、その補助金どうやって取るんかの周

知がなかなかなされてなかったんじゃないかなと思うんですけど、どう周知されたんですか。

○青木危機管理課長 大体年度当初ぐらいに区会の連絡協議会であるとか、そういったところで周知させてもらっております。

○立川委員 単年度じゃなくて、ずっと通年——通年と言えばおかしいですけど、每期每期やられている事業だと思うんですけど、今年はないんやなあということでお話をした記憶があるんですけど、それはいいとして、こういう広報をできるだけいただけたらなあ。やっているところ、別にもお聞きしましたし、したんやけど、どないしたらええんって、いや、今年はないらしいでというお話がありましたので、どうかその辺、お返しするぐらいなら、しっかりPRいただいと思うんですが、いかがでしょうか。

○青木危機管理課長 PRもさせていただこうと思います。これは3年に一度の助成金でありますので、しっかり広報していきたいと思います。

○立川委員 3年に一度ということでもいいんですかね。3年前に受けたら今年受けるけど、去年受けたら今年は受けられないという補助金になるんですかね。

○青木危機管理課長 そのとおりでございます。

○立川委員 そしたら、防災士の助成なんかされていたじゃないですか。そういうのも3年に一遍ということですか。それとも、毎年、その辺がよく理解できないんで。

○青木危機管理課長 防災士は、また事業の分布が違いますので、同じ人が何回受けるもんじゃございませんので、これは毎年一応予算を取ってやっております。

○立川委員 補助金の内容が違うということですね。それとも、単市の予算ですか、その防災士の補助については。

○青木危機管理課長 こちらも県の助成金をもらっております。

○立川委員 じゃあ、どちらもしっかり自主防災で受けられたら補助金が受けられますよ、防災士も。そういう端的に言うてしまいますけど、訓練もしたら補助金ももらえますよということをしっかりPRすることだけお願いをしときます。

○石原委員 委員長冒頭で言われた土木費国庫補助金の中の社会資本整備総合交付金で危機管理課が受け持っておられるところ、河川総務費でしたかね。状況をお聞かせください。

○青木危機管理課長 昨年度作りましたハザードマップを基に、本年度ハザードマップ印刷をしております。このハザードマップ印刷における補助金でありまして、入札とあと仕様を変えたことにより減額になったため、それに合わせて減をしております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、26ページの19款寄附金から29ページの20款繰入金までを範囲とします。

○中西委員 26ページ、寄附金、一般寄附金、企業版ふるさと納税寄附金、件数とすれば何件ぐらいなんでしょうか。

○桑原ふるさと納税課長 今回補正予算としましては、12月末の実績に基づきましてお願いしておりますが、17件でございます。

○中西委員 個々にどういうものがというのは言えないかも知りませんが、寄附されている方たちの傾向というのは何かありますでしょうか。

○桑原ふるさと納税課長 今年度、我々も一つの柱として、教育のまちというところで企業様の訪問をさせていただきました。そういったところで、教育について御賛同いただいたところもあろうかとは思いますが。

○中西委員 市内、市外、県外ではどうなんでしょう。

○桑原ふるさと納税課長 基本的に市内に本社を置く企業様は寄附ができませんので、市外の企業になってまいります。

○中西委員 市外でも、県外とかというのはどうなんでしょう。

○桑原ふるさと納税課長 割合としては、県外の企業様が多うございます。

○尾川委員 ふるさと納税の件で、企業の名前も言えんということなんですけど、やはり市民としたり、別にお礼言うていくわけじゃねえ、工場長に言うていくわけじゃねえですけど、何となし雰囲気として、ああこういう寄附していただいて、備前市のためになっとんじゃということ、ある程度認識というのが必要なじゃねえかと思うて、その金額までは別として、そういうことからして企業ぐらい最低限名前ぐらいを、こういう協力いただいとる、今まして教育のまち備前を売り物にしてセールスしてきとるわけじゃから。そういう具合に、少しはそういう分かるような形にせんと、それはいろいろ寄附して名前を書いたりするのを、金比羅みたいに300万円じゃというて、大きい石したり、こもうしたりするというのも賛否両論あるけど、適当というんがあるんじゃねえかな。やっぱり会社、こういう寄附をしてくれとるとか、金額までは別にして、市民に知ってもらいてんじゃねえじゃろうかと思よんですけど。

○桑原ふるさと納税課長 我々も全てを非公開という形にしているわけではございません。企業様に公開するか非公開するかっていうところはお伺いしております。公開することをよしとする企業様におきましては、ホームページでも公開をさせていただいて、今委員がおっしゃったように金額までは公開をしておりますませんが、会社名は公開をさせていただいていますし、広報で半年に1回ぐらい寄附の状況っていうのを報告させてもらっているんですけども、広報でも御紹介はさせていただいております。

○尾川委員 そういうことで明確にホームページに出しとると言われるんじゃけど、ちゃんと説明はできんような状況、そしたら。ホームページ見いということになるわけ。

○尾川委員 全部言ようたら時間かかるから、適当でええ。

○桑原ふるさと納税課長 金額は申し上げませんが、会社名は、それでは申し上げさせていただきます。

株式会社マッチングジャパン、シンク・エンジニアリング株式会社、株式会社エイト、株式会

社両備システムズ、大東化成工業株式会社、あいおいニッセイ同和損保株式会社、以上が公開よしという企業様でございます。

○石原委員 28、29ページ、基金繰入金、まちづくり応援基金繰入金が減額で、細部説明にも細かく出ておりますけれども、新図書館建設事業、小・中学校ICT業務支援事業、こども園ALT派遣事業、財源を企業版ふるさと納税寄附金に組み替えるとありますけれども、これはそれぞれの事業、幾ら企業版が充てられることになるんでしょうか。

○桑原ふるさと納税課長 企業版として申し上げます。新図書館建設事業に2,010万円、それから伊部運動公園の複合遊具整備に2,000万円、それから英語教育推進事業に1,400万円、こども応援フェスタイベント事業に170万円、それから移住子育て世帯住宅造成事業に1,000万円、GIGAスクール構想の推進というところで3,000万円でございます。

○石原委員 この応援基金繰入金の減額の中には、岡山大学の実施する抗体検査研究事業の財源を国からの交付金に組み替える説明もございますけれど、これについても事業費の幾らが組み替えられるのかというのをここでお尋ねしたらええんでしょうか。

○桑原ふるさと納税課長 細かいところは、私も把握ができておりません。内訳としては財政課のほうでお聞きいただければと思います。

○森本委員長 歳入はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移ります。

32ページ、2款総務費、1項総務管理費から35ページの7目の支所及び出張所費までを範囲といたします。

○石原委員 34、35ページの6目企画費の中の13節委託料、それぞれ減額の状況についてお聞かせいただければと思うんですが。

○國光事業推進課長 電算システム導入委託料400万円減額についてでございますけど、これは今現在マイナンバーカード利用促進を図っている地域ポイント事業の導入経費の減額でございます。

400万円減額している主な理由は、当初加盟店さんで住民の方が来てポイントを使う際に、ピッと読まず端末をうちが購入して加盟店さんに使っていただく予定でしたが、交渉の中で、利用促進を図りたいということで、業者も利用していただきたいということで100台、端末を令和5年度末まで無償で借りられたことにより減額したものでございます。

続いて、500万円減額でございますが、これは専門学校設立に向けた取組の委託、備前市で当初、備前市立、それから民間事業者の誘致にとられることなく検討するというので、可能性調査をいただきたいということで計上しておりましたが、できることは自分たちでやろうかということで、視察とかヒアリング等により、ある程度の基礎調査はできたものと考えております。

それから、市の皆様の御意見もいただいたところなんですけど、市の現状を踏まえ、市立というのは現状を踏まえて誘致を念頭とする方向性に方針を取っております。そういう意味で可能性調査実施の意義が薄れたのではないかと感じております。

今、可能性調査の委託業務を発注することは適当でない判断し、減額したものでございます。

○桑原ふるさと納税課長 ふるさと納税関連の委託料200万円の減額についてでございますが、このたび例年高額の御寄附をいただいております方から、閑谷学校への支援をお願いしたいということがあり、教育委員会の予算ではございますが、閑谷学校へ500万円御寄附という形を取らせていただいております。

その財源の一部に充てるために、財源更正として減額をさせていただき、実績も併せて減額をさせていただいたものでございます。

○石原委員 2点目の企画政策調整委託料の500万円、先ほどございました専門学校設置に向けてということで、また御答弁をお聞きしながら、補正予算が計上されたと記憶しておりますけれども、目的達成のために委託業務として調査を行うという旨の提案でありまして、その後、内部で検討され、委託せずとも職員の皆さん方で調査研究をということで、経費節減、大変すばらしい職員の皆さんの頑張りに敬意を表するところですが、こういったところも改めて予算提案の過程でいま一度、いままじし検討がなされて、真に必要な事業を御提案いただきたくお聞きしたところです。

そういう中で、じゃあ職員さん皆さん頑張られてその目的はある程度しっかりと達成されたというところでよろしいんでしょうか。

○國光事業推進課長 ヒアリングとか現場に視察に行ったりとか、皆様の御意見を伺ったりとかということで、ある程度の現状は把握できたと考えております。

誘致につきましては、引き続き積極的に検討してまいりたいとは考えています。

○尾川委員 関連で、今日資料をいただいた備前市電子地域ポイント加盟店が80店舗、今の100と80との、その辺の理解でええんですかね。

○國光事業推進課長 先ほど私が100の端末って言ったこと、2月の頭から専決いただいて、マイナンバーカードの普及促進ということでポイントを、地域で使えるポイントを出しましょうということで始めました。今年度、急遽ではないですけど始めて100店舗ぐらいが御参加いただければ、うちは皆さんに使っていただけるのではないかとということで、100という数字が一つあります。

ただ、端末店舗が100あるかどうかというのは、まだそのときには分からなかったもので、業者も100ならお貸しできますよということで100お貸しいただいているという状況です。

○尾川委員 無償というか、サービスなんじゃけど、更新はどのくらいで、備前市としての持ち出しが400万円助かったんじゃけど、その400万円、どっかへ使うわけ。また、その更新に

使うとかという考えはねえわけ。

○**國光事業推進課長** 一旦導入経費は助かったと考えております。ただ、業者も慈善事業ではないので、その端末を利用する利用料が毎月、端末ですと880円かかります。そのあたりも勘案して、経費はかかってくるということでございます。

○**中西委員** 34ページの委託料の調査委託料、今のお話ですと、専門学校についての調査研究を行ったと、目的はほぼ達したと言うんですけども、その目的と結論のところだけ、もう一度私は聞かせていただけないでしょうか。

○**國光事業推進課長** 当初、市立、民間事業者の誘致にかかわらず検討するというところで、主には可能性調査を行う上では、市立を念頭には置いておりました。

現在は、誘致の方向性で積極的に検討してまいりたいと考えておることから、今業務の発注をすることは差し控えたということでございます。

○**中西委員** 業務の発注を行うのをやめた意味はどういうことなんでしょうか。

○**國光事業推進課長** 可能性調査の業務内容というのが、市立でできないだろうかというところを見たかったというのが主なところだと私は思っております。誘致となりますと事業者さんの分野とかやり方とか、そういったところがメインで、あまりその市の可能性調査と直接関係しないのではないかと、私自身は思っております。

○**中西委員** 私どもは市立で行うのは、それは無理があるということを、委員会でも議会でも言ってきましたし、そう意味では高い授業料だったと思います。でも、結論として市立はやらないということなんで、これは一つ安心をしたところですよ。でも、高い代償についたということだけは、私は記録に残しておきたいと思っております。

委託料のもう一つのふるさと納税の業務代行委託料、この200万円の減についての理由は、先ほどの理由になるわけですか。

○**桑原ふるさと納税課長** このたび教育委員会からの予算ではございますが、500万円を旧閑谷学校櫓の木募金へと支出することとなりました。支出の根拠は先ほど申し上げましたが、寄附者の意向というところでございます。それに併せて、500万円の財源更正というところが必要になり、今回のこの委託料の200万円、それから需用費、消耗品の200万円、それから33ページですが、会計年度任用職員報酬100万円の計500万円をふるさと納税としては、実績も併せて減額をさせていただいたものでございます。

○**中西委員** もともとこのふるさと納税の代行委託料というのは、625万円が計上されて、そうしますと、この200万円が減額されるというのは、このふるさと納税の業務代行の実質の委託料というのは、結局幾ら払うことになるわけですか。

○**桑原ふるさと納税課長** 実質的には、現状のところ支出がございませぬ。この代行といいますのが、企業版ふるさと納税をマッチングしていただく事業者がございませぬ。そこは成功報酬として企業版について企業様と話がうまくいけば、御寄附をいただければ、その成功報酬としてお支

払いをするといった部分も委託料として持たせていただいておりますので、今のところは支出はございませんが、今後支出があるかも分からないというところで残させていただいているという状況でございます。

○**松本委員** さっきの専門学校は市立でやらないと、どっか業者かどっかの法人ですか、法人を募ってここを利用したというところについては、これからはもう少し考えるという話だったと思うんですけど、そう理解していいですか。

○**國光事業推進課長** そう理解していただいて結構です。

○**松本委員** 期限決めんといけんと思うんですよ。というのは、新しくできる改築の建物ですね、3階に多分そういう予定スペースを用意していたと思うんですけど、例えばもし仮にこういう参入してくる法人、業者、学校法人ですか、そういうものがなければ、例えば図書館に今度、300ぐらいのホールを造るという案もあり、あそこの改築のスペースが空いたら、幾らできるんか分かりません。200、300のホールぐらいできると思うんですよ。やっぱりそういう2つの計画——計画といいますか、図書館とか、あそこの改築案ね、そういう2つをどうするんかとか、整合性を持たすとか、それからそういうことに対して期限を設けて、やっぱり考える必要があると思うんです。もし仮に参入法人がなければ、建物の3階なんて利用する価値がないと言ったらおかしいですけど、やっぱり空白スペースとして余るんじゃないですか。やっぱりそういうことも含めて考えるべきだと思うんです。いつまでこのことを、あそこは完成するまで参入法人を追求すると理解していいんですか。

○**森本委員長** 松本委員、その建物の利用になったとは、また違うと思うので、この調査されたということだけの質問でお願いしたいと思うんですけども。

○**松本委員** 関連ない言やあ関連ないけど、大いに関係するんじゃないですか。これから調査するんでしょ。参入法人を引き続き見つけていくということでしょう。これ期限を決めないと、めどを立てないと、やっぱりそういう建築計画と何かマッチしないんじゃないかなと思うんですけど。

○**國光事業推進課長** 期限を決めるかどうかっていうのは、はっきりお答えできないのですが、所管している部署と共に交渉というんですかね、そのお話は何件かささせていただいているところではございます。その相手方にもいろいろ御都合がありますし、できるもの、できないものもございまして、ある程度の期限は念頭には置いております。

○**松本委員** あそこが完成するまでには、決めんといけんということで理解していいですか。

私が言いたいのは、この情勢の中で参入してくる業者なんて、法人ですか、学校法人ですか、ほとんどもう考えられないですね、あそこの地にどういう学校が来るか、最初は看護学校から始まっていましたけど。そういうことも含めて、早う判断して、もう諦めるんなら諦めるということをお勧めしたいと思います。

○**中西委員** 34ページの支所及び出張所費の工事請負費、減額の理由についてお聞かせ願いた

いと思います。

○瀬尾三石総合支所管理課長 施設整備工事費470万円減について御説明させていただきます。

旧三石町役場の耐震改修工事でありまして、まず耐震改修工事に当たって、設計を当然委託しまして、設計業者が現地に入って詳細に設計するに当たり調査したところ、当初予算作成時に予定しておりました計画上の工法では到底施工できない箇所が数か所見つかりまして、工事費が当初予算をはるかに上回る工事請負費が必要と判明したので、工事そのものを中止した次第であります。

○横谷日生総合支所管理課長 日生総合支所のほうから支所補修工事2,600万円について御説明させていただきます。

日生総合支所の耐震長寿命化工事における入札による減額により、2,600万円の減とさせていただきます。

○中西委員 三石ですけど、当初の見積りとは違う、はるかに上回るということですから、修理の箇所が出てきたと、それは具体的にはどういうことのような感じになるわけですか。

○瀬尾三石総合支所管理課長 当初では施工方法が違う箇所が数か所あったんですけど、幾つか説明させていただきますと、まず耐震改修工事ですので、はりとか柱に補強材をつけて補強していくような工法になるんですけど、当初予算見積り時では、まず天井部分については、天井の中に作業員が入って行って補強作業するというような工法で見積額を出しておりましたが、実際に工事するに当たり詳細設計をしたところ、それではとても現状の天井では作業員が転落するおそれがあり、天井そのものを撤去して補強していくという工法でないと駄目だとか、次に土台部分についても、実際床をはぐってみたところ、土台の柱がコンクリートで固められとる状況で、補強するに当たって、そのコンクリートを全て撤去してから補強していかないといけないというような感じで、見積りの工法では到底、実際は工事ができないというような箇所が数点見つかった次第であります。

○中西委員 今のようなお話を伺いますと、かなり基本的なところの見積りのやっばしミスがあったのかなというような感じは受けるんですけども、そう意味での予算計上はどうだったんかということが問われるとは思いますが、今後は、例えば令和5年度の当初予算の中にははるかに上回る金額の工事費が今度は計上されているということなんでしょうか。

○瀬尾三石総合支所管理課長 今、三石ふれあいセンターの三石総合支所の隣の部屋を東商工会さんにお貸ししております。この耐震改修工事をした建物に、東商工会さんに移っていただいて、お貸ししている部分も三石総合支所で広く使いたいという思いで本年度予算要求させていただいたんですけど、今年度の設計と工事費のほうを合わせて550万円ほど予算要求させていただいているんですけど、正式に工事をするとすると約1,400万円ほどかかるというような試算が出ております。そこで、三石総合支所が広く窓口スペースを設けるといふ部分と、この1,

400万円の費用対効果を勘案しまして、この旧三石町役場を耐震改修しての商工会さん移転の案件は、今回取りあえずなかったことにして、違う方法を検討していきたいと思っております。ですから、5年度で三石町役場の耐震改修工事費は計上しておりません。

○中西委員 それは委員会には報告はされているんですか。

○瀬尾三石総合支所管理課長 移転先等探していた都合もあり、報告はしておりません。

○中西委員 当初予算で上がっていて、それが使えないということで、今回補正予算で減額補正で上がってきているんですけど、やっぱり委員会、議会には報告してほしいなど、所管ではありませんけれども、お願いをしておきたいと思います。そのことについては、なかなか重大な問題ではないかなというような感じが私はしています。

○青山委員 関連です。その上の13節の委託料なんですけど、これも先ほどの三石、日生支所に関連しとんでしょうか。どういう内容か教えてください。工事設計監理委託料と工事施工管理委託料の減額です。

○瀬尾三石総合支所管理課長 工事設計監理委託料マイナス59万9,000円は、先ほど御説明しました旧三石町役場耐震改修工事の設計委託料でございます。

○横谷日生総合支所管理課長 日生総合支所では、工事施工管理委託料の77万円減額をしております。これにつきましても、入札による減となっております。

○青山委員 日生支所については、工事されているわけなんですけど、これは今年度中に完了ではなかったんですかね。

○横谷日生総合支所管理課長 令和5年3月31日完成しまして、検査の予定としております。

○青山委員 まだカバーがついたりしているんですけど、これはもう完了する見込みでよろしいんでしょうか。

○横谷日生総合支所管理課長 足場の解体等につきましては、来週の予定にはなっております。3月31の検査に向けて現在施工中でございます。

○森本委員長 ほかよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

58ページの9款消防費、1項消防費と、飛びまして66、67ページの13款諸支出金、2項基金費を範囲とします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出終わります。

次に、7ページを開いてください。所管別分類表は1ページです。

表左側に総務と記載のあるものが本日の対象範囲ですが、旧アルファビゼン跡地活用事業については、昨日審査を終えております。

以上で質疑漏れ等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、議案第16号の審査を終了します。

***** 議案第57号の審査（前半） *****

次に、議案第57号の審査を行います。

議案第57号令和4年度備前市一般会計補正予算（第13号）の審査を行います。

一番後ろ、第1表繰越明許費補正の審査を行います。

補正予算書、最後やから2ページですね、2ページを御覧ください。

今日は2款の総務費が審査対象になっております。

質疑のある方ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第57号令和4年度備前市一般会計補正予算（第13号）のうち総務関係の審査を終了いたします。

休憩に入ります。

午後2時25分 休憩

午後2時40分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

***** 議案第1号の審査（前半） *****

次に、議案第1号令和5年度備前市一般会計予算の審査を行います。

まずは歳入から行います。予算書は24ページをお開きください。所管別分類表は6ページです。

範囲は15款使用料及び手数料、1項使用料、1目総務使用料から43ページの17款県支出金、3項県委託金、1目総務費県委託金までです。

すいません、お手元に座席表をお配りしていますので、裏面、前半と後半で印刷していますから、先ほどから分かりづらいとの御意見がございましたので、それで各課確認して御質問をよろしくお願ひします。分からなければ、取りあえず聞いてみてください。事務局が判断してまいりますので。

○尾川委員 41ページ、消防費県補助金、水防費補助金で岡山県防災まちづくり総合支援事業費補助金というのが89万6,000円、何号じゃったか、下がとったんですけど、このあたりの県の補助が2分の1で、市が2分の1で、どういう計画なんですかね。まちづくりですから、各地区とか、対象じゃないかなあとは推察するんですけど、詳しいことを教えてください。

○青木危機管理課長 まだどこから出てくるというのは、分からないんですけども、一応自主防災組織の活動事業に117万円と、あと防災士の育成事業に12万2,000円、足したら179万2,000円ですので、この半額、2分の1をここに計上しております。

○尾川委員 じゃあ、まだ今予定は大体見込み、要するに去年できなんで、今年度やろうかなあという見込みじゃなしに、全く白紙の状態なんですか。

○青木危機管理課長 幾らかお話は聞いておりますけども、まだ今確実にやりますよというのは聞いていませんので、また4月なってから申請があると思っております。

○尾川委員 これは県の補助金なんですけど、例えば追加でお願いしたりして、そういう弾力性というか、要望に応じていただいて、県も予算がオーバーするというか、要するに追加になるようなことも認めてもらえるんですか、現実的には。

○青木危機管理課長 県も予算がございまして、本年度については申請した後に追加の申請があったんですけども、県のほうに確認したら、まだ財源が残っているということで、変更申請で少し増やしていただけるような話は聞いております。

○森本委員長 次、44ページの18款の財産収入、1項財産運用収入から47ページの19款寄附金までを範囲といたします。

○尾川委員 47ページの一般寄附金の19款寄附金、一般寄附金のふるさと納税関係なんですけど、かなり予算が上がってきておるんですけども、強気かなあという、その辺の何遍も同じようなことを聞きよんですけど、雰囲気としてどういう感じで、達成率というんか、まあこのくらいの目標値が市長の公約とはまた違うんかも分らんですけど、そのあたりについて。

○桑原ふるさと納税課長 まず、ふるさと納税寄附金でございます。個人版のふるさと納税にはなっておりません。

今年度、広告を打ったりとか、受付をするサイトを増やしたりとか、そういった作業を進めてまいりました。次年度につきましては、やはり我々だけではなかなかできない部分っていうところを、中間事業者と申しますが、中間事業者の手を借りて専門的なところの攻略を行っていきたいと考えております。それに伴い増額が見込めるものではないかというところで、今回6億円の予算をお願いしたところでございます。

それから、その下の企業版でございます。企業版につきましても、本年度、我々も企業様を回る訪問もさせていただきました。令和5年度につきましては、個別の事業、充当する事業が明らかにもなってきたというところでもございますので、その辺どういった企業様に御理解をいただけるかといったようなところも踏まえまして、戦略的に企業様にお願いをし、増額を図ってまいりたいと思っております。

それから、一番下のクラウドファンディング100万円につきましては、今年度、一昨年も行っております保健課が実施する猫の関連のクラウドファンディングでございます。

○尾川委員 批判的なことばあ言ったらいけんですけど、新聞記事で、ふるさと納税の見直しというか、制度的な見直しが図られるような、要するに東京都区内がマイナスになって持ち出しが多いと、それもそりゃ地方へ金が回るんじゃないか、ええじゃねえかと言うんですけど、ショートしとるということで、結構制度的な問題と、それから都区内も力入れて魅力づくりをしとんですけど、結局中間業者とか、メーカーというか、地産業者も結構苦しいとか、それはスタンスが違う人が書いとるわけですし、そのあたりの制度的な見直しというんが、結構、都会の余裕があ

ったところがショートし出して、文句をつけ出して、制度が変わるんじゃないかという懸念があるんですけど、そういう制度的な見直しの見込みというのは、どう判断されとんですか。

○桑原ふるさと納税課長 委員おっしゃるとおり、いろいろな考え方がございます。現状で申しますと、次年度以降、総務省なり国がどういった改定をしてくるのかっていうところにつきましては、まだ承知しておりません。ただ、自治体によっては、委員先ほど御指摘のとおり、寄附額より出ていくほうが多いといったような自治体も見られるようでございます。

我々としては、現状の総務省の基準にのっって御寄附をいただけるように最善を尽くすというところでございますので、今後どういった方針が示されるかはいまだ分かりませんが、もし示されれば、それにのっとり我々も全力を尽くすというところで御理解をいただきたいと思っております。

○尾川委員 全く見直しの情報は入っていないわけ。

○桑原ふるさと納税課長 制度全体の見直しという情報は入っておりません。ただ、返礼品の基準でありますとか、地場産品基準の部分に対しては、幾分か改善がなされるんじゃないかっていう程度の情報でございます。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、46ページの20款繰入金、1項特別会計繰入金から49ページの20款繰入金、2項基金繰入金までを範囲といたします。

20款繰入金、1項特別会計繰入金までです。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、52ページ、諸収入の雑入、57ページまで、別紙2を参照にしてください。雑入全部です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳入が終わります。

次、歳出に移らせていただきます。

62ページを開いてください。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から73ページの2款総務費、1項総務管理費の6目企画費までを範囲といたします。

○中西委員 66ページ、文書広報費、需用費の印刷製本費、昨年が964万円、今回は大体400万円ほど増えていますので、増額の理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○則枝広聴広報課長 こちらですけれども、現在表裏表紙、2ページのフルカラーで、ほかは2色カラーの20ページを基本としていました。ですが、令和5年度におきましては、外の8ページ、片面4ページずつをフルカラーとしまして、24ページ、4ページの増と見込んでおります。

今現在、市が力を入れています事業のPR力を強化することを目的としまして、対象記事の見せ方につきまして、戦略的広報会議等の「伝えるから伝わる」をコンセプトとしまして、練り上げた仕組みを生かして広報力の底上げをしていこうと考えております。それにより「広報びぜん」の印刷製本費の増額となっております。

○中西委員 今の御説明で行政の発信力を強めると、事業の力点を市民の皆さんによく伝えるというような話がありましたけども、私はもう一つの側面では、市民の皆さんの声がどれだけ入ってくるかということも一つは考えておく必要があるんじゃないかなと、あくまでも一方通行にならないようにということを思うところです。

その点については、今回のこの「広報びぜん」、何かお考えがあるところがありますでしょうか。

○則枝広聴広報課長 委員言われますとおり、一方通行にならないよう、伝わる広報としまして市民の方が求められているものを伝えていきたいと考えております。

○中西委員 同じ文書広報の委託料、ここで法律相談というのが今年度ないんですけども、これはどうなったのでしょうか。

○則枝広聴広報課長 法律相談につきましては、令和4年度では8月の1回の実施しております。こちらなんですけれども、社会福祉協議会様が毎月2回実施しておりますので、令和5年度よりは社会福祉協議会様と相談させていただきまして、そちらに一本化させていただいております。

○中西委員 備前市から何がしかの委託料なり、補助金というは社協には出してあげておられるんですか。

○則枝広聴広報課長 市から委託金を出しております。

○中西委員 その委託金というのは、予算書の中ではどこで出てくるのでしょうか。

○則枝広聴広報課長 広聴広報課の広報の部門からというわけではなく、福祉部門から支給、負担をさせていただいておりますので、どこかというのがすぐには分かりません。

○尾川委員 広報の関係で、今言う発信力というか、発信力を強化するという狙いはええんですけど、全国的に自治体の広報について審査を受けというんじゃないええんですけど、その辺の応募はされとんですか。昔聞いとんが、真庭市の市の広報が結構評価としてはええように聞いとんです。備前市としては、そういう場合、個性強いですから、そんなところへ出ていかんというものあるんかもしれんですけど、そのあたり担当者としての考え方、たまには市民の声もあれですけど、全国的な雰囲気の中でそれが正しいかどうかは別にして、少しアドバイス受けてみるかなという感覚で審査に応募するというような考えはないですか。

○則枝広聴広報課長 今年度、戦略的広報ということで進めております。その中で、私たち広聴広報課職員も広報力を上げていこうと考えておりました。このたび、広報のコンクールに応募させていただきました。表紙の写真の部と、記事の部に応募させていただきました。残念ながら入

賞はできませんでしたが、その審査員様の御意見をいただいております、そちらを課員認識し、次の新しい広報につなげていきたいと思っております。

○尾川委員 どういう指摘で、改善しようとするのは、どういうところですか。

○則枝広聴広報課長 写真のレイアウトであるとか構成内容について御指摘をいただいております。事細かくには覚えておりませんが、改善していきます。

○尾川委員 また別の機会でも教えてください。

議会だよりもありますんで、関係すると思うんで、議会だよりすらぼっこあれじゃないですけど、それなりに頑張ってるから、せっかく金を使うんじゃないから、本格的な広報というのはやっぱり追求していかないとかなんかと思うんで、市の広報も気になる場所があるんで、また。

○則枝広聴広報課長 先ほどお話しさせていただきました、この令和4年度で戦略的広報というものをチームを組んで作っております。1年間かけて作り出した成果を、今年度末にはお示しさせていただけたらと思いますので、そちらも見ていただけたらと思います。

○尾川委員 今日こども園の卒園式に行ってきたんですよ。そのときに市の代表が、大体市長の挨拶か教育長の挨拶文を預かっていくべきところが、要するに市長のDVDかZoomでやりよんかよう分かんないんですけど、挨拶されたわけですね。そのあたりもこの広報で逸脱しとるかも分かんないんですけど、その辺の感覚というのはどんなところにあるんですかね。意味分かる。

皆ほかの人は気にならなにか知らんけえな、これは要らんことです。

○中西委員 70ページの給与費、報酬が昨年度から見て下がって、給料は一般職の給料は上がっていると。人の異動というのは、どういう形でここはされているんでしょう。全く人数は変わらないんでしょうか。

○梶藤総合政策部長 今の人数というのが一般職員という把握でよろしいでしょうか。それとも会計年度任用職員という把握でよろしいでしょうか。

○中西委員 報酬でいえば、昨年度の報酬が1,236万4,000円、今回半分になっていますから、会計年度任用職員の異動があるのか。それから、給料は今回は1,251万3,000円、昨年度が885万8,000円、つまり350万円ぐらい上がっているわけですね。会計年度任用職員が減って一般職が増えたのか、一般職が増えずに会計年度任用職員だけが減ったのか、企画課全体の構成がどう変わるのか、強化されるのかどうかというところなんです。

○桑原ふるさと納税課長 ふるさと納税に関してでございますが、会計任用職員、令和4年度予算では3名お願いをしておりましたが、5年度2名の要求となっておりますので、1名減となっております。

○馬場企画課長 企画課ですけれども、令和4年度中はマイナポイントの支援の関係で、会計年度任用職員さんを雇っておりました。

当初予算額では565万3,000円となっておりますものが、令和5年度には上がっており

ませんので、この分減になっております。

○中西委員 企画の会計年度任用職員というのは何人おって、それがゼロになったのか。

○馬場企画課長 4名の予定で当初予算案を上げておりました。ただ、マイナポイントの関係、6月からと言っていたものが7月となってみたり、それから期限が延びてみたりする中で、その時期時期によって人数はまちまちで雇っておりましたけれども、当初予算ベースでは4名、565万3,000円ということでございます。

○中西委員 じゃあ、一般職の給料は変わっているけども、職員の数としては変わらないということですか。

○梶藤総合政策部長 人数については、こちらで把握し切れてないんで、去年の部分で言うたら増えたり減ったりしていたりするんで、お答えできません。

○中西委員 私は全体の仕組みがよく分からないんですけども、分からないということを前提で話をさせてもらって、担当課の一般職が何人いるのかがどうなのか分からないというのが、僕は理解ができないんですよ。課というものがあって職員がいるわけですから、1人なんか2人なんか、あるいは給料の高い者がそこにいるのか。

○梶藤総合政策部長 去年時点でどういう形で上がっていたのかということと、今年の比較が難しいかなと思ったので、発言させてもらったんですけど、今年が管理的な職員が多いと感じております。人数はほとんど変わってないということでございます。

○中西委員 これは誰に聞けば分かるわけですか。

○梶藤総合政策部長 一応こちらの給料につきましては、総務が一括して扱っている部分ではあるかなあとと思うんで、そちらのほうで答えられるかなあとは思います。

○中西委員 給料は総務で確かに扱って計上しているんか分かりませんが、自らの課の中の職員の数がどうなるんかというのは、私はやっぱり把握しておくべきだと思うんですけども、それはどうなんでしょうか。

○梶藤総合政策部長 こちらの給料で職員の数が把握できるんじゃないかというようなお話でございます。こちらにつきましては、予算当初の部分で上がっている部分、当初予算を作成する部分で上がっている部分でございます。来年度につきましては機構改革もあります。職員の人数というの確定されたものでないと理解しておりますので、その後の職員配置について、職員が配置されたものでしっかりと業務につきましてはやっていくということで、行っていきたいと考えております。

○中西委員 報償費の記念品等というところで、どういうものが含まれているのか、お聞かせ願いたいと思います。

○桑原ふるさと納税課長 ふるさと納税の返礼品に係る費用でございます。

○中西委員 その下の各種協議会委員謝礼、これは去年から見ると3分の1ぐらいに減っているんですけど、何か理由があるんでしょうか。

○馬場企画課長 こちらにつきましては、備前市まち・ひと・しごと創生懇談会の委員の謝礼であります。令和2年、3年と書面開催でありまして、令和4年度につきましては1回開催しております。開催する際に、これまでと運営方法等を変えまして、これまでは全施策について複数のグループで紹介いただくという形を取っておりましたが、今回はKPI、これに特化しまして、これの達成状況で、達成状況が低いものについて報告させていただいて、それについて審査いただくという方法を取りまして、1回の開催にしております。令和5年につきましても、同様の方法を取りたいと思っております。1回のみで開催費用を上げさせていただいております。

○中西委員 19の負担金補助及び交付金、備前緑陽高校サポート事業補助金、この令和5年度もやっぱりマイナンバーをひもづけされるんですね。

○馬場企画課長 以前から申し上げておりますとおり、市独自の政策に基づく補助金につきましては、世帯全員のマイナンバーということが基本となっております。補助金につきましてはそれを支給要件とさせていただいて、債務負担で今回初めてなんですけれども、やっていきたいと考えております。

○中西委員 財源は何で補われましたか。

○馬場企画課長 財政調整基金から入れていただくように聞いております。

○中西委員 続きまして、苫田ダムの水源地域振興事業負担金、これが珍しいことに6万円から4万円に減っているんですけど、この減額の理由を。

○馬場企画課長 苫田ダムの補助金につきましては、終わりは令和17年と聞いております。これに向けて、起債の償還が続いていくんですけども、償還額自体も減額となっていきます。ということで、令和5年度につきましては4万円の減額となっております。

○中西委員 つまり償還が減っているということですか。

○馬場企画課長 そのとおりです。

○尾川委員 負担金補助交付金の備前緑陽高校サポート事業補助金、現状はどういう状況で、運用状況、現場がどういう感じになっとん、詳しい話を聞かせてもらえたらと思うんですけど。

○馬場企画課長 総務産業委員会、それから厚生文教委員会報告の後の動きですけれども、その後、緑陽高校と今後についての話でありますとか、本日、合格案内を送付することとなっております。その中に今回の補助金の説明を入れさせていただいております。それについて、お昼過ぎには何件か問合せのお電話もありました。

その後ですけれども、27日が入学説明会となっております。その際に、企画課から2名程度説明会に出向き、説明をさせていただきたいと思っております。

説明会の後に、うちだけじゃなしに、JRとかいろんなところが説明に行くんですけども、説明者ごとにブースを設けていただけるということを聞いておりますので、さらに質問等、お問合せ等がある方に対しては、そこで対応しようと考えております。

○尾川委員 それで、緑陽高校の学校とのスタンスはどういう感じで、高校は全く先生は関係な

しに、備前市の職員が行って説明して、直接本人か、あるいは家族の人と話しする。ほんなら、かなりの人数、1学年が百何ぼかな、200おるんか、それをどう実際やっていこうとしとる、計画は。

○馬場企画課長 本日発送の中に案内も入れておりますので、この後、何件か電話がかかってくると思いますので、そちらで対応するのと、それから当日は百何十人かなるか分からないんですけども、その方の生徒さん、保護者さんの前で、取りあえず今日お渡ししている、お配りしている資料を持ってきてくださいと書いてあります。その資料を持ってきていただいて、最初から丁寧に順番に説明させていただいて、あとはマイナンバーのこともございましょうから、その後のブースのほうで、それ以上に説明が要するという方に対しては、こちらから説明をしていきたいと考えております。

○尾川委員 特にそういう今の途中でトラブルというか、誤解が生じたような問題は起きてないんですか。

○馬場企画課長 企画課には、そういうようなトラブルというような電話とか問合せ等は今現在入っておりませんが、ここで案内を出しておりますので、これ以降に何件かひょっとしたら入ってくるのかなあとは考えております。

○山本委員 同じ企画費のところで、13節委託料、スマートフォン配布事業委託料、金額は新規事業等の概要を見たら分かりますんで、内容を教えていただきたいんですが、どのようなスマートフォンを予定しているんですか。何ギガぐらいのスマートフォンか。

○國光事業推進課長 アンドロイド、OSが11想定、ギガは3から5で検討しています。

○山本委員 3から5ギガでよろしいんですか。

○國光事業推進課長 はい、結構です。

○山本委員 3から5ギガがあったら大分使用できると思うんですけど、行政から一方的に情報を提供するような使用の仕方ですか。

○國光事業推進課長 皆様が個人で取得されて御自由に使われることを想定すれば、かなり制限がかかる想定でございます。自由度は低いものになります。

想定しておりますのが、MDM、モバイルデバイスマネージャーというものを導入して、これは本来の目的としては、備前市が所有しているスマートフォンを無償で貸与しますよ、希望者に貸与します。その上で、住民の方に使っていただく。その中で、セキュリティー、落としたとかなくした、データが入っているのに困ったとか、いろいろございます。そういうものを市として知らんというわけにはいかないところもあります、悪用されるとか。そういった端末があれば遠隔でロックがかけられる、あとはデータを消去できる、いろんな機能をつけることになります。そういう制御ができるものであるという意味でございます。

○山本委員 でしたら、個人負担はどういう形になるんですかね。

○國光事業推進課長 端末及び通信費は市が負担するということになります。

○山本委員 ユーチューブ見たりしてギガを減らしていったりするの、個人負担ということですか。

○國光事業推進課長 市が契約するスマートフォンの通信容量が、上限が例えば5ギガ、それを超えますと、極端に速度が落ちた仕様となって、全く使えないということではないですけど、現実的にネットとかが極端に使いづらくなるということになるかと思います。

○山本委員 ここに書いていますが、スマートフォン教室、無料でしょう。

○國光事業推進課長 無料で想定しています。

○山本委員 その辺のところ、市民の高齢者の方にはよく説明してください。

○國光事業推進課長 初めて持つ方、いろんな方がいらっしゃると思います。そういった方に電源の入れ方からやりたいなと思っております。

○中西委員 これはマイナンバーはひもづけされないんですか。

○國光事業推進課長 マイナンバーの取得を条件とする予定でございます。

○中西委員 そのことも高齢者の皆さんにしっかり説明してあげてください。

○石原委員 事業シートにもございますけれど、目的は書かれております。確かにインフラの支援ということなんでしょう。それから、スマホ貸与、5年間と想定されておりますけれども、5年間の根拠は。

○國光事業推進課長 実証実験が65歳以上の高齢者に実証実験するとか、全国でも数件見受けているところです。その場合2年から3年というところが多いございます。実施、実証実験も兼ねた日本で初めてのことになるかと思いますが、実施ということなので、想定はマックス5年とさせていただいております。

○石原委員 後ほどあるんでしょうけれども、債務負担行為のところ、令和10年までで6億8,000万円余り計上されておりますので、5年なんだなあ、大きな金額なんだあというのを実感しておりますけれども、それから先ほどちらと他の自治体の事例として、二、三年の期間で65歳以上を対象にというようなことがございましたけど、備前市のこの事業では年齢のところは何か規定はお考えなんですか。

○國光事業推進課長 備前市に住所がごいます方全員というところで、さすがにゼロ歳はあれなので、1歳以上ということで考えております。

○石原委員 まあまあ1歳以上というようにお答えもあつたんですけども、僕まずこれ見て、えっ2万台というところも、そこもやはりどうしても目が行くところですし、2万台を想定されとる、少して市民の皆さんのインフラ支援もあるんですけども、ほとんどの方が、今何%ぐらいの方がスマートフォンを持たれとんか分かんなんですけれども、2万台の想定何か説得力ある根拠とありますか、考え方をお示しいただければとは思いますが。

○國光事業推進課長 初めての取組でどれだけの方が御希望されるか、御所望されるかっていうところは、実際もう本当に分からないところがあります。そんな中で、どれぐらいの数量を見込

んだらいいかというところで、備前市の18歳未満の方の人口、それから60歳以上の方の人口、年齢で、その方だけが対象ではないのですが、18歳未満の方、60歳以上の方の人口を合計しますと、約1万九千何ぼになるところをもって、マックスそこを設定値とさせていただいております。

対象ターゲットといたしましては、あんまり御高齢の方はなかなか難しいと思いますけど、御高齢の方、それから未成年の方、生活困窮されとって少しでもスマホの通信料、持っていること、経費を払うことが負担に感じられている方が多いということも聞いておりますから、そういうところをターゲットにしたいという思いでございます。

○石原委員 参考までに、先ほどございました65歳以上で例えばですけど、2年から3年の想定で事業を実施されとる自治体もあるということですが、参考までにどちらの自治体さんで取り組まれて、研究されたんでしょうか。

○國光事業推進課長 今おっしゃったのに合致するところは、東京都渋谷区のデジタルというより高齢者の部門がたしか2年間の実証実験、65歳以上をやっていたらっしゃいます。

○石原委員 スケジュールでもし可決されれば、5年度の当初から募集対応という形になっておりますけれども、可決後の流れとしてどういう形で、周知であったり、お知らせPRであったり、実際の貸与であったり、どういう形で想定されとんでしょうか。

○國光事業推進課長 仕様をもう少し細かく詰めて、それからそれに基づいて契約をやり、なるべく早く、5月の広報めどに、より詳しい申込書等、広報だけではなくては、ウェブとか、いろんなあらゆる手段で皆さんにお知らせし、5月末、6月末と2回に切るか、6月末までにするか、その辺は細かくはまだ決まっておきませんが、なるべく早い段階で、まずは数量を、全部をそこで配る、どれだけの数が出てくるかも想定が分からないところがありますので、それとの関係にはなりますけど、その出てきた希望者に応じて1,000、2,000なら市役所本庁と総合支所で手分けしてきていただいて、配りながら教室をします。それが理想ではありますけど、なかなか予定どおりに運ぶかどうかは皆様の反応次第ということもございますので、一応早ければ6月から、少量からでもいけたらなと思っております。

○石原委員 財源は一般財源を充てられておりますけれども、一番上に、事業の背景なんかも、デジタル社会みたいなワードも出てきて、それこそデジタル田園都市国家構想交付金なんかの対象なんかににはなり得ない事業なんでしょうか。

○國光事業推進課長 デジタル庁にも問い合わせました。そういった端末自体というものは対象にならないですよという回答を得ております。ただ、物すごくこれがないと事業ができませんよというものが、説明がきちりできればあり得るといことで、基本的にはあり得ませんよという回答でございます。

○立川委員 大変すばらしい事業だと思うんですけど、僕は高齢者なんで教えてください。スマホもらって何ができるの、何を使えるのというお尋ね、単純に、どうお答えいただけますか。

○國光事業推進課長 その人の環境にもよるかと思いますが、お孫さんが遠くにいらっしゃれば、ネットで顔を見ながら話せるよとか、市が進めたい、びぜんn a v i でありますとか、備前の公式LINEが載ったLINEですとか、あとは今やっている地域ポイントアプリでありますとか、そういった備前市として推奨しているものプラス、デジタル田園でこの間、皆さんにお知らせして、申請していますよといったオンライン申請ができるアプリ、それも開発する予定で、今年度予定なので、そういった市が推し進めるデジタルに関するものを、貸与した方のスマホに遠隔で実装することが可能でございます。そういったことも併せてお知らせしながら、一緒に使っていければいいなと思っています。

○立川委員 お話するのはできるの、お友達とお話ができるの、さっき言った孫とは電話できるの、対面できるの、今持つとるやつとどう違うのというところ辺。今のやったら、市のほうのアプリとか全部入れますよ、遠隔で入れますよというお話でしょう。市のサイドなんですけど、使うほうの年寄りの身になって何ができるの、例えば電車にも乗れるんやで、これ入れたらと、通話は自由にできるんですよ、買物もこれでできるんですよ、そういったところ、そういう意味で何ができるのという、素朴な質問にどう答えるのか。

○國光事業推進課長 通常通話はできません。LINEとか、そういったインターネット通話を想定してございます。

あとは、アプリとか、それでご購入が即できるということは難しいかもしれません。

○立川委員 結局何か分からんけどというスマホを貸してくれるわけでしょう。今、我々が手元で使っているやつとどう違うの。今言った役所関係の分が入ったら遠隔でしてくれたら分かります。どう違うのって言われたら、今持つとるやつは捨てといてそれを使うの。その辺どうなんですか、そういう意図。

○國光事業推進課長 デジタルディバイド対策というんですか、基本的には持ってらっしゃらない方、それから持っているけど負担に感じていらっしゃる方というのが、一義的にはターゲットでございます。だから、持ってばりばり使っていらっしゃる方が、それを絶対駄目ということではないですけども、一義的にそういう方に対して提供したいというのが趣旨でございます。

○立川委員 さっきもターゲットというお話がありましたけど、調査されましたか。僕お伝えしたと思うんですけど、例えば18歳以下、高校生、何ぼ持っているか御存じですか。言っときましようか。岡山県教委2021年の調査で、スマホ所持率は高校生が99.5%、中学生は75.8%、18歳以下の人数掛ける、これ両方あれですけど、80%持っています。備前市内、18歳以下何人おるんですか。20%しかキャパがないんですよ。この2万の数字が全く違うじゃないですか。だから、結局どういう調査をされて台数を出してこられたのか、昨日も言いましたけど、エビデンスが全くないんですよ。こんな調査、すぐぱっと見て分かるじゃない。県教委が発表しとるわけですから、去年はこんだけですよ、高校生に至っては99.5ですよ。1,000人のうち5人だけです、持ってないのは。備前市はもっとないかも分かりませんが、平均

ですから。そういったところをきちっと計算して、この2万台という金額出されたんですかね。

○國光事業推進課長 その数字は今確認しておりませんでした。ただ、持っていらっしゃっても、御家庭で子供さんがいっぱいいらっしゃったら、やっぱり家計の負担というのが大きくなっていうのはあると思います。そういう意味で、お子さんにその携帯を持たせる——持たせるって言うのであれば、持っていたのか、市の携帯を利用していただくのかという選択はあってもいいのかなと思っています。全体の数が多過ぎるっていう御指摘については、もうおっしゃるとおりでございます。

○立川委員 数字の出し方がおかしいですよというところ。それと、さっき聞いたように、今持っているやつとどう違うんですかって言ったら、今おっしゃったように、はっきり言えないじゃないですか。市のひもがついたやつアプリは入りますよ。それを持ち帰ってくださいね。何言うとな、うちは子供にGPSつけとんやと、誘拐されても困るからと。そんなアプリはすぐ入らんわけでしょ、今のお話では。ほんなら、ニーズと合致しない話がどんどん出てくるじゃないですか。説明が本当分らないです。どう違うんです。今私が持つとるあれとどう違うんですか。こんだけ使よんやけど、これは確保、担保されるんでしょうね。それプラス市のほうはどうかなんですか。それとも、市がオーダーしました。さっきおっしゃいましたね。MDMで管理しますよ。いい点はなるほどあるんでしょう。それを選択肢としてどうぞという、選択肢のメリット・デメリットがまるで分からないんですけど、その辺はまた今からつくられるんですか。

○國光事業推進課長 こういったスマートフォンですよ、御家庭の負担も少なくなりますよ、あとは持ってらっしゃらない方は、デジタルの恩恵もこういった面が受けられますよっていうのを整理して分かりやすく説明してまいりたいと思います。

それで、希望されるのは、住民の方だと理解しておりますので、そこでそれだったら要らないよって言われたら、そこはうちのほうはそういうスタンスではございます。

○立川委員 そういった資料も何も、この審査してくださいという場に出てこない、5年間で6億8,000万円もかける事業に。お聞きしたら、いや、それ丁寧につくってまいります。つくってから出されるもんじゃないんですかねと思います。毎日同じことを言わにゃいかんのですけど、これ市の税金使っていることです。皆さんが理解しやすいように、審査の場にそういった資料というのは、必ず提供していただきたいと思います。

○青山委員 事業内容に相談窓口を設置とあるんですけど、かなりいろんな相談とか、トラブルの問題が発生して入ってくるんじゃないかと思うんですけど、どういう窓口を設けられるんですか。

○國光事業推進課長 基本的には、市のほうで専門的な者を雇って相談窓口を設置することは難しいと考えています。なので、お聞きした内容を委託する事業者へつなぐというところが現実的かなというところで、今制度設計をしています。

○青山委員 かなり職員の方、手を取られるんじゃないかなあとと思いますし、委託するという

ことになる、委託料とか発生すると思うんですけど、ここにそういったようなものが上がっていますか。

○**國光事業推進課長** 相談窓口につきましては、今言った形で市で一旦受けたものをまとめて、急がなければいけないものは急ぐ必要があると思いますけど、一旦受けて委託事業者に聞くってスタイルを取るの、常時、何でもお答えできる窓口を設置すると、費用も膨大になりますから、それは極力、スマホ教室とかの回数を増やして、相談とか、教室でやっていきたいと考えています。

○**青山委員** お年寄りが何かあった、すぐに対応してもらわないと、そのトラブルを解消できない、スマホ教室まで待てと対応されるんですか。

○**國光事業推進課長** 早急に対応しなければいけないときのスキームをどうするかっていうのは、またもう少し検討の余地はあるかなと思います。

○**青山委員** 私の母親も95歳で、ちょっと前までガラケーを持っていたんですけど、やっぱり充電はどうすんならとか、あるいはどこを押したらええんならとかと、誰でも分かるようなところで一度説明をしてできるようになっていても、できなくなったり、いろんなケースがあると思うんです。ですから、やっぱりそのところも考えた、そういう配慮しておかないといけないんじゃないかな。特に今、詐欺まがいのことも多いです、いろんなアプリを自分で間違えて、購入するなり無償でもいいんですけど、大きいトラブルに巻き込まれるようなことも想定できます。その辺のところもしっかり計画段階で立てられて提案していただきたい。

それからもう一つは、メディアリテラシーといいますか、特に子供たちにとってはそういったような、それがいじめにつながったりという問題もあります。ですから、教育委員会ともよく相談されて、学校の中でどういう取扱いをしていただくかということも問題になると思うんです。そういうことについては、教育委員会は何かお話しされていますか。

○**國光事業推進課長** 特に教育委員会と協議したということはないので、早速教育委員会ともお話をしたいと思います。

○**青山委員** ぜひ多岐にわたってもう一遍細かく考えていただきたいと思います。

○**中西委員** 2万ありきなんかなという感じを思ってます。というのは、全国のスマホの普及率が今大体65%と言われてますから、備前でいえば、2万1,000台近いものが出ていると、残りはあと一万ちょっとなわけですよ。そういう意味では、2万というのが恐らく2万台ありきが走ったんでしょけど、私がここで伺いしておきたいのは、メーカーはどこになるのかというのは伺っておきたいと思う。

これは余談な話ですけど、吉備中央町がデジタル健康都市ということで、事業をやっていますけど、あそこはスマートウォッチで血圧と体温計と脈拍が瞬時に分かると。異常があれば、通知が行くというような、ああいうほうが私は実際には行政にも役立つ情報ですし、住民の皆さんも毎日定期的に管理を受けて安否確認にもなる。一石二鳥のやり方ですけど、何か話からすれば、

大変お粗末な話という感じがせざるを得ないんですけど、どこのメーカーに絞られるんかお伺いをしておきたいと思う。

○**國光事業推進課長** 今の段階では決まっております。

○**中西委員** 4月1日からこれ始めると、貸与も4月1日から始めると、この新規事業といったら2万台なんてそうざらにはそろいませんよ。これはどうしたら4月1日から何千台もの携帯電話がそろいます。

昨日もそうですけど、今日もその本当にええかげんな計画ばかり僕らも聞かされて、かなわないと思うんですけど、どうやったらそろいます。

○**國光事業推進課長** 4月の当初からってというのは難しいと思います。5月の広報で募集をかけて、随時、早い段階で6月の貸与が実現できるようにしていきたいと思っています。段階的に、一遍に全部じゃないです。

○**中西委員** 適当な計画だというのがよう分かりましたんで、結構です。

○**森本委員長** 休憩に入らせてください。

午後3時55分 休憩

午後4時09分 再開

○**森本委員長** それでは、再開いたします。

先ほどからの続きで73ページの6目企画費までが範囲です。

質疑のある方。

○**立川委員** 備前緑陽高校の分ですね、負担金補助、一言だけお願いしとかないかんですけど、委員会で御説明がございまして、そのとき申し上げたんですけど、これ県立高校の絡みなんです、県教委に手を突っ込んでごそごそするということにもなりかねませんので、他市町村も絡みますので、その辺の県教委との調整はされたかどうかだけ教えてください。

○**梶藤総合政策部長** 県教委との協議につきまして、緑陽高校から県教委に協議をしているということでもあります。

○**立川委員** 本当にその辺も配慮してね、校長の立場もございまして、この前申し上げたんでそれ以上申し上げませんが、皆さん方のお気持ちになって、備前市に他市町村が手を突っ込んできたら腹立つでしょう。ぜひともその辺、摩擦のないように進めていただきたいと思います。

○**尾川委員** 同じページじゃけど、報酬の行政評価関係で、システム支援とか業務委託料について、もうそういうシステムの改善というのは考えがないという、その辺は委託料がなくなるとるような気がするんじゃけど、どうでもええ言よんか、それともどねんな考えしとんじやろうか。

○**馬場企画課長** 行政評価市民委員会委員報酬といいますのは、行政評価につきましては、内部評価と外部評価がございまして。

○**尾川委員** 支援業務委託料がのうなるとるが。そういうことについてどう考えとんですか。

○**馬場企画課長** 委託料につきましては、市民意識調査報告書の委託で報告書を作っています。

た。ですけれども、今回はもう自前で、こちらで頑張っ、職員で報告書を作ろうということで、委託料はなくしております。

○尾川委員 自前で頑張るといのはええように聞こえるんですけど、逆にこっちのものは何か人のアドバイスまで聞かあでも、全て憲法でいきよんかなあと思うたりして、悪う取るんじゃねんじゃけど、やっぱり謙虚にね、こういう制度といのはやはりもあろうし、変化もするし、だからやっぱり適当なアドバイスを、専門家のアドバイス、100%信用せんでええけえ、ある程度はやっぱり意見を聞きながら、行政評価をやっていくというスタンスが必要なんじゃねえかと思うんです。

それと、報酬について委員はどういうメンバーになっとんのですか。前からわし指摘してきとんじゃ。同じ人があるいは関係団体の人が代表になってみたりするといのは、行政評価の委員の在り方について質問して、改善してくれえとお願いしとるはずなんです。

○馬場企画課長 行政評価の外部評価委員につきましては、令和4年度、今年度一新しております。今までの方で、長い方はここで御勇退いただいたという形を取っております。新しい委員さんにつきましては、まず緑陽高校の先生に入っております。それから、金融機関から1人入っていただきました。あとは、旧地域おこし協力隊で頑張っていたいてきた、外から備前市に入ってきて、備前市のことを外からの目でも中からの目でも見るということで、そういう方に入っております。それから、農業関係の方から1名、それからあとは募集により、市民の方2名に入っております。合計7名の方で今年度は外部評価をしていただきました。

○尾川委員 結局、委託料で補正予算がどんどんどんどん出るぐらいじゃから、少々の金はええんじゃから、補正出して、委託料は専門家のある程度アドバイスしてもろて、決める者が評価しようたんじゃおえんのじゃからね、評価にはならんと思う。その辺はきちっとしてほしいという願いですわ。

○馬場企画課長 市政を進めていく上では、内部評価、外部評価、どちらも大事になってくると思います。アドバイス等をいただける方がおられたら、また積極的なアドバイスをいただきたいですし、そういう面につきましても今後考えていきたいと思っております。

○石原委員 71ページ、報償費の中の記念品等、先ほどございましたふるさと納税返礼品ですけど、お見かけするたびに返礼品も次々いろんな新しいものも加わっていて、いろいろ見るだけでも楽しかったりするんですけど、コロナもこういう状況になってきてやっぱり御自宅から商品が届く形もそれはいいんですけど、何かこうコロナも見ながらですけど、実際に備前に足を運んでいただいて楽しんでいただいたり、お買物していただいたりというような形のもので、少しでも広がればなあと思うんですけど、そういう中で備前焼の割引券なんかも導入をされて、実際にお選びいただけたらなという中で、たちまちコロナに突入したりで、またそういうものも復活すればなあと思うんですけど、現時点ですけど、実際に備前のほうへ少し

でもお一人でも足を運んでいただくようなスタイルのものを何かお考えのようなもの、現時点であればですけれども。

○桑原ふるさと納税課長 我々も委員と同様にコロナがこう静まってきたら足を運んでいただいて、地元でお金を落としてもらう、その一つにふるさと納税というものを御活用いただきたいというところでした。

従前からお話をいただいているように、備前焼の割引券もその一つでございますし、近年でいえば、旅行といったものの返礼品というのは全国的にも多くなってきています。我々も、楽天さんがする楽天トラベルっていったようなところにも割引の部分お出しをさせていただいておりますし、宿泊体験といったような返礼品も、徐々にではありますけど、増やしてきたところであります。その一つとして、今年度、特定のサイトからではございますが、電子マネーと申しましうか、P a y P a yのポイントをふるさと納税の返礼品として追加をさせていただきました。

備前市にお越しただいて、その場で御寄附をいただければ、そのポイントが即に変換をされ、その場でお使いいただけるといったようなところの返礼品も追加してきたところでございますので、今後ともそういった部分、PRもしながら強化をしていきたいと考えております。

○森本委員長 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は72ページの7目の支所及び出張所費から83ページの14目国際交流推進費までを範囲とします。

○江見吉永総合支所長 支所及び出張所費の15節工事請負費につきまして、1億3,920万円を計上いたしておりますが、金額が大きいこととすし、その内訳もでございますので、それを説明をさせていただきたいと思っております。

この工事請負費1億3,920万円のうち、吉永総合支所分が、屋根付多目的広場整備事業で、9,800万円、それからインクルーシブ遊具整備事業で、2,060万円となります。残りの2,060万円は日生総合支所分のインクルーシブ遊具整備事業となります。

屋根つき多目的広場につきましては、以前から説明をいたしておりますが、雨天時などの運動や遊びの場、マルシェやフリーマーケットなどに使用できる場など、市民の皆さんが利用できる施設として吉永総合支所で管理運営をするというものでございます。

また、吉永のインクルーシブ遊具につきましては、この屋根つき広場の近隣で設置をしたいと考えておまして、市民の多くの方が気軽に立ち寄れる憩いの場として、一体的な整備ができるように進めてまいりたいと考えております。

○立川委員 今御説明があった吉永の関係なんですけど、屋根つき多目的広場の整備事業9,800万円なんですけど、過去数回修正がかかっておるんですけど、前回と特にこれ変わったと申しますか、この辺改善しての提案ですと申すか、何が変わったのか、そこら辺お聞かせいただけますか。

○江見吉永総合支所長 この9, 800万円の屋根つき広場につきましては、特に屋根の形状でありますとか、物自体とか場所というものは変わってはございません。

先ほども申しましたように、その屋根つき広場という単体のもではなくて、子供たちも遊べるようなインクルーシブ遊具の設置の事業というのを市として進めておりますので、そういったものをこの近隣に設置することで、一体的に人が集まる、集える場というものを設置したいということで考えて、提案をさせていただいているというものでございます。

○立川委員 子供のあれとひつつけたよというぐらいしか変わらずというところだと思いますが、これは今までに修正のところで意見が出とったと思うんですけど、これここだけじゃなくてトータルの考えて、どっか1か所造ればいいのではないですかということも、修正の大きな理由だったんですが、その点については、お考えされましたか。吉永だけだったらつらいかも分かりませんが、その辺のお考えはどうですか。

○江見吉永総合支所長 今までの説明の中でもあったかもしれませんが、市全体を考えると、市民の皆様、対象としては市民の皆様全ての市民の方が寄れる場として、一つ吉永地域にこの設備、施設というものを設置いたしたいと考えているということでございます。

○立川委員 何も変わったところもないよと、ここでしか駄目なんだという意味で上げてこられたと解釈をしておきます。

○中西委員 同じところでお伺いしますけども、ここは今回図面も出てないわけですけど、今までと変わりが無いということで言えば、フェンスとか柵で囲むという管理は考えておられないんですか。

○江見吉永総合支所長 今のところ、今までの計画の中でも、そのフェンスや柵といった安全施設というものを併せて造るという計画にはいたしておりませんが、運営上、ここが危険であるというふうなことを判断しましたら、追加でフェンス等の設置というのは考えているということでございます。

○中西委員 このあたりは鹿等は出ないんですか。

○江見吉永総合支所長 特にここの周辺で多く見かけるということは、聞いてはおりません。

○中西委員 多目的なドームのテントの中には、何か物を置かれたりすることがあるんでしょうか。

○江見吉永総合支所長 屋根の下に何か物を置くということは考えてございません。

○中西委員 つまり、その屋根の下、あるいはその周辺には盗難に遭うようなものはないと。

○江見吉永総合支所長 以前の説明でもあったかと思いますが、防災かまどベンチを2基置くということは考えてございまして、それを置いているので、それが盗難に遭うということは考えてはございません。

○中西委員 施設の維持の安全管理についてのフェンスは、今のところ必要はないと、必要が生じたらフェンスを造ると、そういうスタンスなんですね。

○江見吉永総合支所長 はい、現時点でもその広場を使ってらっしゃる方というのはおられますし、団体で使っていないなくても、例えば子供たちが休日にキャッチボールをする、サッカーで遊ぶといったようなことは、今現在でも行っておりますので、今現在そのフェンスがないということで、利用が多くなって例えば小さなお子さんがとても遊ぶというようなことを見受けられましたら、フェンス等であるとか、安全施設というのは必要になってくるだろうと考えているところで

す。

○中西委員 これの財源は何ですか。

○江見吉永総合支所長 まちづくり応援基金を充てるということで計画しております。

○藪内委員 管理はどこがするかと、それからいろんな団体さんがなんか要望されていたみたいなんですけど、スポーツであるとか、グラウンドゴルフであるとか、小っちゃい子供の遊び場として、その辺のすみ分けというか、利用日であるとか、利用時間であるとか、そういうことはうまくいくんでしょうか。

○江見吉永総合支所長 管理につきましては、先ほども申しましたように、吉永総合支所で管理をしていくということで、例えばある団体さんが長期間にわたって利用したいというような予約が入れば、吉永で受けることとなります。ほかといたしますか、例えば岡山市東区の瀬戸にありますドーム施設というのが同じようにございます、屋根があると。そこなども、予約等があれば、そこを予約の時間だけその団体が使用する。ただ、それ以外の時間というのは、例えば犬の散歩でそこを横切るとか、そういったようなキャッチボールしたり、サッカーしたりするのにしても、言い方が悪いかもしれませんが、勝手に入ってやっても大丈夫なように、特に何か柵がしてあるということではございませんで、実際に散歩等をされている方もおられます。そういう利用で運営ができていくということでもありますので、予約についてはするということで、それ以外のことについては自由に使っていただいてもいいのではないかと考えています。

先ほど各団体からの要望書という話が出ました。私もスポーツ少年団等の団体の方ともお話をさせていただきました。その中でも、使えるということで、例えば予約をこちらで受けて、その時間帯だけ使うということも可能ですよとお伝えをしておりますし、そういった要望があって、こちらでお話をさせていただいて、今回いろいろと要望書をいただいているのではないかと考えている次第でございます。

○藪内委員 吉永総合支所に聞いても仕方ないんですけど、先ほど出た瀬戸とか、和気にもドームがありまして、いろいろ使う、行く場面がありまして、確かに便利だなあと思うんですよ、ないよりあるほうがいいし。そしたら、今ここに理由にもあります、日差しが強いであるとか、南部よりは冷えるとかいろいろ理由があるんですけど、確かに雨が降らないと、いろんなイベントもできやすいので、予定を狂わすことなく。そしたら、ほかの地域もね、やっぱり何かそれをどんどん欲しがらんじゃないのかなあと思うんですけど。

○江見吉永総合支所長 今回吉永地域でこの施設ができて、例えば本当に予約が埋まっていたり

とか、いろんな市内全域の方が利用されるというふうな実績が上がれば、他の地域でも同じような考えというか、施策が進むのではないかと考えております。

○藪内委員 便利でいいんですけど、心配するのが、金額がやっぱりすごく高いので、どんどんできるのかなあとと思うし、確かにあれば便利ではありますよね。

○江見吉永総合支所長 県内ではありますけれども、ほかの屋根つきのドームでありますとか、屋根つき広場といったようなものは、何件かは調査をさせていただいておりますが、設置工事に当たる費用として、特に備前市の今回のものだけが高額であるという感じではないと、同じ広さのものでも1億円を超えるようなものというのはあると承知をしております。

○藪内委員 備前市が高いと言っているわけじゃなく、どこの地区にしても、総体的に高いのかなと思うだけです。

○尾川委員 今、和気ドーム、瀬戸ドームかの話が出たんですけど、どのくらいの建設費でランニングコストというのはどのくらいかかるか調べとらんのですか。和気なんかでもええですよ。

○江見吉永総合支所長 和気ドームは形状が違うといいますか、壁があったりとかで、大変高額だと聞いております。柱があって屋根があるというものだけですと、瀬戸にある瀬戸ドームと一般的に言われているものなんですけれども、あれが10年以上前に施工されたもので、1億5,000万円程度と聞いております。

○尾川委員 ランニングコストというのはどのくらいなんですか。

○江見吉永総合支所長 特に電気を使うとか、そういったものではございませんので、今回、吉永で計画をしておりますのは、そういったランニングコストはかからないのですが、屋根の張り替えにつきましては、大体50年に一度ぐらい、これも天候であるとか、屋根の形状で変わってくるんですが、聞いたところだと、2,000万円から3,000万円程度はかかるのではないかと見積もっております。

○尾川委員 50年に一遍と言うんですけど、どういう構造か知らんけど、そんな長うもつことないと思うんですわ、その辺はやり取りしてもしょうがないんで。私らは前から主張しよったのが、備前市で1個でええんじゃねえかと、総合運動公園で1個造たらんええんじゃねえかという意見もあるんですわ。グラウンドゴルフの責任持てと言うんじゃないですけど、グラウンドゴルフの要望でも、集中的につきちっとしてくれたらええんじゃという要望も聞いたことがある。それは今変化してきとるからだと思うんですけど、そういう考えというのはなかったんですかね。同じものを出してくるんですけど。

○江見吉永総合支所長 一応市全体の予算として計上させていただいておりますので、全体的にそのヒアリングの中で、吉永地域に造るということで、これは市の考えとして上がっているものと私は理解をしています。

○尾川委員 この説明書きに、一々けちつけるんじゃねえですけど、フリーマーケットなどの催物という、こういうベースはあるんですか。

○江見吉永総合支所長 フリーフリーマーケット自体を、市で今現在どこでしているかっていうのは、承知をしてないんですけども、例えばマルシェといったようなものであれば、これは今まで2回ほど大池の緑地公園でされたうみやま市さんであるとか、そういったものは実際に市内でもされているので、それが例えば屋根があつて天候を気にせずにできるというような考え方というのものではないかと思っています。

○尾川委員 本当に例えば今マルシェが出たけど、例えば吉永のああいう施設とか、日生とか、そういうものだったらまだ分かると思うんです。

それともう一つは、大池の話が出たんですけど、あそこはキャンプ場じゃと、この辺とは違ふと、そんなあちこちじゃなしに、集中的に何か考えていくというような考え方はなかったんですか。担当が違うからそれは別じゃと言うんかどうかわからんですけど。

○江見吉永総合支所長 例えば大池緑地公園ですと、キャンプ場の計画をすとなれば、例えば観光客の方がそのターゲットであるのではないかと考えますし、今回の屋根つき多目的広場は、どちらかといいますと、市民の方が身近に来ていただいて憩える場という考え方ですので、少しその辺のすみ分けはできるとは考えております。

○尾川委員 子供の遊び場という文言も出てきとんですけどね、その辺無理して書き歩かずにいきゃええんじゃねえかなあという感じするんです。

備前市でそんなに観光客、観光客というて、やっぱり備前市民をまず第一に考えていくべきじゃねえかなあとは個人的には思うんです。お客さんばあ来てもらうて、そのために金投資するより、やっぱり備前市民の人が使うて、喜んでもらえてというたほうがやっぱり第一義的なんじゃねえかなあという感じがある。

○江見吉永総合支所長 それはおっしゃるとおりだと思ひまして、市民の方が集える場ということで今回多目的広場及びそのインクルーシブ遊具を設置したいということで計上しているということでございます。

○立川委員 使用料は取られるんですかね。取れるとしたら、マイナンバーにひもづけされるんですか。

○江見吉永総合支所長 使用料は今のところ徴収しないという方向で考えております。

○立川委員 市外の利用者もしないということですか。

○江見吉永総合支所長 市外の方がここへ来て何かをするという想定ではないと思っております。

○立川委員 御存じだと思いますけど、このグループはもうどこでも行きますよ、グラウンドゴルフ大会。屋根があるんやというたら、うちのところでも、それはもう県北からでも来られますよ、どんどん。大会でもあったら、もう何チーム、三石でも100人ぐらい集まる大会が結構ありますから。近所の人しかあかんということですか。例えばそういう人を連れてきて大会やるとか、何とか杯やるとか、市長杯やるとか、そんなときもあるんじゃないかと思うんですけど。

○江見吉永総合支所長 以前にも説明をさせていただいたかもしれませんが、広さ的に、グラウンドゴルフ大会ができるほどの広さではないと聞いております。ですので、あくまでその練習をするための施設として御利用いただけるのではないかと思います。その施設を練習でする中で、例えば市内のグラウンドゴルフの方と市外のグラウンドゴルフの方が練習を一緒にするんだと言われるということはあり得るのかなとは思っております。

○立川委員 あり得るケースでどうされるんですかということです。その方たちも無料にされるんですか。

○江見吉永総合支所長 基本的には無料と考えております。

○青山委員 関連なんですけど、私は屋根の必要性というのを感じません。といいますのが、雨が降って、例えば以前見た設計なんかを見ると、グラウンドゴルフをするにもぎりぎりの広さと。あそこからボールがこぼれるでしょうし、野球にしてもサッカーにしても。あの中だけで収まるということはないと思いますし、そもそも雨が降ったときにどのぐらいの方があそこまで足を運んでやられるのかなあということを感じます。

災害時の避難所とも書かれとんですけど、どんな災害か分かりませんが、例えば風水害の災害であれば、屋根があって壁がない吹きさらしの中でどう過ごされるのか、あるいは夜避難したときに照明もない、そんなような状況で避難所として使えるのか、あの周りに総合支所もありますし、地区の公民館もありますし、それからB&Gも近いんで、スポーツ関係はそこでできますし、そういったところの整備をひとつしっかりされたほうがいいんじゃないかなあと感じます。その辺についてはいかがですか。

○江見吉永総合支所長 まず、最初の雨等での利用というのはないのではないかとということなんですけれども、今回要望が上がってきている団体の方とはお話をさせていただいた中で、確かにあれば、雨とか雪が降ったときでも使えるから使うよという話はお伺いしておりますので、全く使われないということではないのではないかなと考えているところでございます。

それから、2点目の災害時なんですけれども、災害時ここを避難所として使うというのは想定はしておりませんが、確かに吹きさらしでございます。ですので、例えば外に出しておいてもいいような支援の品であるとか、そういったものを置く保管場所であるとか、一義的には確かに緊急的に避難をするところになるかもしれませんが、特に避難所として運営をしていくということは考えてございません。

○青山委員 今までも理由の中にですね、資材置場であったり、仮設の救護施設ですか、それから避難所として利用できるということも書かれているんですけど、資材置場として活用するとなると、またその置場所なり、そういったようなものがスペースの中で活動に邪魔になるんじゃないかなあ。あるいは、安全面で問題が出るんじゃないかなあとかというようなことも考えますし、そこへ来てインクルーシブの遊具を設置するという事なんで、その辺のスペース、あるいはそこで遊ぶ子供たちと、競技等をやっておる子供たちとの安全管理なんかはどのようにする

か、そういったもろもろのことというのは考えられておるのでしょうか。

○江見吉永総合支所長 インクルーシブ遊具の設置につきましても、特に例えばその屋根を設置している広場の本当にすぐ横で走り回って危ないようなところに設置しようとは考えておりませんけれども、そのあたりは、例えば屋根つき広場があって、そこで安全に遊べる、その近隣で安全に遊べる場所というのはどこかということで、なるべく近隣で設置をしていきたいという考えでございます。

○松本委員 このことは過去何回、もう4回、5回、何回か分かりませんが、いろいろ否定されてきて、また上げてきて、今言っていることも後づけの理屈ですよ。こんな議論をすべきでないと思いますよ。雨が降ったら休みやいいですよ。別にする必要なんかありませんが、高い金出して。

○西上委員 2020年に熊本県の球磨川が氾濫されたときにも、一時的にこういうドームに避難されて、やっぱり命が助かったという、こういう事例もありますので、青山委員も言われたように、長期的には無理かもしれませんが、一時的に避難して命が助かった、これは非常に意義があるんじゃないかと思います。長期的には体育館とかグラウンドとかへ行きゃええと思いますが、取りあえず一時的に命を助ける、助かるというところがあるというところでは、熊本県の人吉市、球磨川が氾濫した事例がありますから、私はいいと思います。

○青山委員 そういう事例もあったと言うんですけど、ドームというのは屋根だけだったとか、どこの場所にあったのかということは、私も承知しておりませんが、私は一時避難する、避難場所としてもふさわしくないんじゃないかなあという思いで言わせていただきました。

○森本委員長 大分意見も出たので、これはこれで終わらせていただいて、ほかのところ質疑のある方はどうぞ。

国際交流推進費までです、14目の83ページ。

○石原委員 82、83ページの国際交流推進費の中の19節負担金補助及び交付金の中の国際交流事業補助金、こちら以前のような形で長う見据えて行き来をすると、今のところの予定というか。

○馬場企画課長 アメリカのメンロパーク、それからオーストラリアのクレア&ギルバート町、それから韓国の蔚山東区と姉妹都市を結んでおりますけれども、コロナの状況にもよるかもしれませんが、一応今年度からできればまた交流を開始したいなということで予算を上げさせてもらっております。

まず、オーストラリアにつきましては、訪問を考えております。時期的にはどの事業も夏休みです。

それから、韓国とアメリカにつきましては、受入れを考えております。夏休みで、アメリカは中学生、オーストラリアは中高生、韓国は小学生を対象としております。

ただ、コロナの関係もありまして、受入れのときになかなか受け入れてくれない方もひょっと

したらあるかもしれませんが、その辺を考慮しながら進めていきたいと考えておりますので、また度々報告をさせていただきたいと思っております。

○中西委員 80ページ、委託料、番組制作等委託料、600万円ほど増えてますんで、理由をお聞かせください。

○則枝広聴広報課長 今年度になります、6月補正によりまして、ユーチューブ番組の制作を開始しております。ですので、令和5年度におきましては、通常の番組制作費プラス、ユーチューブの番組制作費を合わせまして増額させていただいております。

○森本委員長 ほかに、いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、90ページ、91ページの総務費の統計監査費、飛んで158ページから161ページの消防費、飛びまして192、193、諸支出金、基金費、1目積立金、それが範囲です。

○中西委員 158ページ、消防費のこの備品購入費のところでお伺いをしていますが、備蓄は今年度はどのようなものをお考えになっておられますでしょうか。

○青木危機管理課長 消防ホースを予定しております。

○中西委員 このどこに当たるのかが分からないんですけども、例えば水とかアルファ米だとか、いろいろこれまでの備蓄をされてこられて、ミルクだとか、いろいろ広がって来ていましたよね。今年度はどういうことをお考えになっておられますか。

○青木危機管理課長 費目が水防費になるんですけども、同じように食料品ですとか、水とか、あと簡易トイレですとか、その簡易トイレに使うテントですとか、そういったものもそろえていこうと考えております。

○中西委員 これは一般質問でも市長が前向きに答えられたんで、テントとかトイレの数はどのくらいを積算しておられますか。

○青木危機管理課長 一応、各校に3つずつと考えておりますので、15校ありますので65校ずつですかね、テントが45張り、簡易トイレが45ずつを考えております。

○中西委員 あと、食べ物類はどういうものを考えておられますか。特に最近問題になってきているのは、子供とか女性の方への配慮というところが多くなってきていますけども。

○青木危機管理課長 備品購入する際には、女性職員の意見も聞いたりとか、健康系の職員にも聞いたりしますので、そういった方の配慮した食料とか、備品ですとか、そういうのは考えておりますけども、今これを買うっていうのは考えておりませんが、そういったことは考慮して買っていきたくて考えております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出終わります。

予算書8ページを開いてください。所管別分類表は1ページです。第3表で表の左側、所管別

分類表の表の左側に総とか記載のあるものが本日の対象範囲です。

質疑のある方はどうぞ。

それでは、全体に質疑漏れ等はありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第1号令和5年度備前市一般会計予算のうち、総務関係の前半の部分の審査を終了いたします。

説明員を入替えますので休憩いたします。

午後4時58分 休憩

午後5時13分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

***** 報告第1号の審査 *****

それでは、専決第6号令和4年度備前市一般会計補正予算（第11号）から審査を行います。

なお、事業に係る総合政策部市民生活部にも御入室いただいております。

歳入歳出一括で質疑を行います。

○中西委員 専決処分が行われているわけですけど、1月12日、なぜ専決処分しなければならなかったのか、お聞かせ願いたいと思います。

○藤森市民課長 当初1人当たり2,000ポイントの電子地域ポイントを付与する内容で進めておりましたが、平成16年4月2日以降生まれの取得者に対して、1人当たり5,000ポイントの追加を行ったものです。

市民への周知、それから案内の発送などに必要な期間があったため、また3月31日までとしているポイントの利用期間を可能な限り確保するために、やむを得ず専決処分とさせていただきました。

○中西委員 1月12日、議会の招集がかかれば、私も参加したと思うんですが、どうして議会が開かれないと判断されたんでしょう。

議会を開くことができないときと専決には書かれていますけども、議会は招集がかかれば、議員はこぞって参集すると思います。できたことだと私は思うんですが、いかがでしょうか。

○森本委員長 休憩します。

午後5時16分 休憩

午後5時17分 再開

○森本委員長 再開します。

○今脇総務部長 1月12日に議会を開くとなれば、1月5日、1週間前には議案を送付しないといけないということだと、私は認識しております。ですので、新年1月4日からということですので、時間的に余裕がなかったということで、専決処分とさせていただきました。

○中西委員 1週間前の議案の送付というんですが、今日何か議案が出てきましたよ。

○今脇総務部長 それは追加送付させていただいたんですけども、最終日の上程という提案ということで予定をしておりますので、今日が1週間前ぐらいになると思います。

○中西委員 電子ポイントの取扱助成金ですけど、マイナンバーのひもづけがされているんでしょうか。

○藤森市民課長 こちらがマイナンバーカード取得者に対しての補助金になりますので、当然マイナンバーカードを持っている方になります。

○森本委員長 ほかに質疑のある方、歳入歳出一括です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終了いたします。

以上で専決第6号令和4年度備前市一般会計補正予算（第11号）の審査を終了いたします。

総合政策部、市民生活部の説明員の方におかれましては、御退席いただいて結構です。

***** 議案第16号の審査（後半） *****

次に、議案第16号令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）の審査を行います。後半部分です。補正予算書12ページをお開きください。所管別分類表は3ページです。審査範囲は12ページ、1款市税から17ページ、12款地方交付税までを範囲といたします。

○尾川委員 17ページの地方交付税、もうこれは補正されとる分ですけども、増額になっただんですけど、そのあたりの説明をお願いしたいんですけど。

○榮財政課長 普通交付税につきましてですが、国の令和4年度の補正予算（第2号）によりまして、交付税の総額が増額をされております。それに伴いまして、地方への配分額が増となっております。それを受けまして、具体的には、令和4年度に限り臨時経済対策費という名目が追加されましたので、それとあと併せまして、当初に配分されましたときに、国が配分する交付税が総額は決まっておりますので、各算定を行ったときに、はみ出てしまった分を調整という形で減額を受けております。その復活分が897万7,000円、それから先ほど申し上げました臨時経済対策分が9,197万6,000円、合計で1億95万3,000円の再交付決定があったものでございます。

○尾川委員 今説明を受けたんですけど、これはやはりコロナ関係でこういう追加、普通交付税はあんまりこういうケースというのは少ないようなイメージで、去年もあったんですかね。その辺はどういう、今後もそういうことはあり得るといふ想定しときゃええん、特交だけが後から出てくるように理解しとったんですけど、まだまだこういう世間の情勢が変化しょうるから、その対応としてこういう施策というか、出てきよんですかね。

○榮財政課長 令和3年度に引き続きまして、令和4年度も交付税のその再算定といいますけれども、国の補正予算に基づく増額というのがなされております。

背景といたしましては、委員がおっしゃられたようなコロナ禍が引き続き続いておりまして、地方の現状、市民の皆さん苦しいといったような状況が続いているということと、それに併せまし

て国へ入ってくる国税ですね、交付税の原資になります国税の歳入は好調であったというような理由があると認識をしております。

○森本委員長 すいません、私先ほど1段読み間違えて、範囲は19ページまでなんですけど、16款の国庫支出金と2項の国庫補助金と1目総務費国庫補助金の3節、5節までです。

質疑のある方どうぞ。

○中西委員 12ページの都市計画税なんですけど、年々少し減ってきている。人口との関係なんですか、どういうことが原因として考えられるんでしょう。

○木和田税務課長 都市計画税の減少についてなんですけれども、こちらにつきましては評価額の減少が主な原因になるかと思っております。

○石原委員 18、19ページの国庫補助金、総務費国庫補助金、3節地域振興費補助金、内容を改めて御説明いただければ。

○榮財政課長 地域振興費補助金の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金でございますけれども、先ほど審査をいただきました11号補正で、歳出予算の確保のために一時的に増額をいたした分がございます。これが1,875万円ございました。それをこの補正で減額するとともに、国からの追加内示というのが220万円ございました。それとの差額ということで、マイナスの1,655万円を補正するものでございます。

○石原委員 岡山大学が実施する抗体検査研究事業の助成等の財源として充当する、それはまた違うんですかね。

○榮財政課長 そちらにつきましては、全体の財源更正のお話になります。具体的に申し上げますと、歳出の46ページ、衛生費、保健衛生費の予防費の分がございます。こちらのほうに国庫支出金ということで、2,213万3,000円の財源の更正が入っております。

この内訳といたしまして、岡山大学への抗体検査の研究費のほうへ4,973万2,000円をここで充当いたしております。

○石原委員 じゃあ、1億円余りの事業、当初はまちづくり応援基金が充当されておりましたけれども、その後、調整をされて、事業費のうち4,973万円がコロナに関する交付金が充てられとるということよろしいですか。

○榮財政課長 事業充当につきましては、前回までの補正予算で既に抗体検査の研究費のほうへ約4,000万円弱だったと思うんですけども、充当をかけております。今回、その残りを充当したということになります。

○尾川委員 今、財政課長からる説明があったんですけど、これはやっぱりマイナンバーの取得率で案分されて、総務省はやりよんですか。総務省は交付税にあれをつけるということで、考え方という、今頃黙っとるけど、最初のうちはそういうことを言ようたんじゃけど、220万円プラス今の説明があった、ああいうところはそういう影響というんはあるのかな。

○榮財政課長 先ほど申しあげました220万円の国の追加内示につきましては、地方が行う国

庫補助事業等につきまして、大体国が2分の1、それから市が2分の1といったような負担割合で、地方が半分を持つと、ないしは3分の1を持つといったようなルールづけがされております。

国のほうで、コロナ交付金使ってもっと事業を積極的にやってくださいという意味で、地方負担分3分の1ないし2分の1の分につきましても、後刻、こういった形で支出した分について国から、全額ではないんですけれども、こういった形で再度その分についての手当てがあるというようなルールがありますので、今回、金額的には少ないかもしれないんですけれども、220万円という形で国からそのルールに従って、あくまでもコロナのその交付金のルールに従って追加の内示を受けたもので、こちらのほうはマイナンバーの取得率とか、そういったものに関係するものではございません。

○森本委員長 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、24ページ、18款財産収入、1項財産運用収入から31ページ、最後市債までです。

○石原委員 29ページの基金繰入金、まちづくり応援基金繰入金で先ほど前半部分でお尋ねしましたら、こちらでお尋ねをということでしたんですけれども、基金繰入金の調整のところの中で、これにも岡山大学の先ほどの研究事業の財源組替えとの説明もあったりするんですけど、じゃあ一体、岡山大学の研究事業、結局のところまちづくり応援基金が幾ら充当されて、先ほどの交付金が幾らでという形になっているのか御説明いただければと思うんですが。

○榮財政課長 正確な金額を整理してから御回答させていただきたいので、すいません、後ほどにさせていただきます。

○石原委員 市債のうち15目合併特例事業債、まちづくり振興基金積立事業充当、この動きについて内容をお聞かせいただければ。

○榮財政課長 今回、まちづくり振興基金の積み増しのために合併特例債を3億7,680万円、これが基金の総額です。このうち、合併特例債分として95%充当というルールがございますので、合併特例債を3億5,790万円を発行するための予算を計上させていただいております。

これについてなんですけれども、合併の当初に割り当てられた基金造成のための発行可能額というのがございます。こちらが総額で17億8,290万円ございました。平成17年から約4年間の間で、このうちの14億2,500万円を使いまして、総額15億円の基金を創設いたしております。

今回その割当て限度があった17億8,290万円のうち、14億2,500万円を使った残りの3億5,790万円、こちらを使って基金を造成しようというような予算を組ませていただいております。

○森本委員長 ほかに質疑のある方、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に入らせていただきます。

32ページを開いてください。所管別分類表は5ページです。

32ページの2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から35ページの2款総務費、1項総務管理費、9目電算管理費までを範囲といたします。

○尾川委員 33ページ、財政管理費の委託料、公会計財務書類作成支援業務委託料が207万2,000円減額になっとなんですけど、事業せなんだんかなと解釈しとんですけど、それで済ませてえんかなという面もあるんで、今後の考え方について御説明願います。

○榮財政課長 こちらにつきましては、事業をいたしております。入札残の整理になってございます。

委託事業につきましては、85万5,000円ということで、公会計の財務書類の作成支援業務の委託を行っております。

○尾川委員 安うなったということ。その原因は何でなんですか

○榮財政課長 近年、こういった委託を請け負う税理士事務所ですとか、そういったところが結構全国的に増えてまいりまして、作成支援の手法といったような自治体への支援の手法というのも定着をしてきたということで、そういった形で競合する業者さんが増えたのではないかと考えております。

○尾川委員 金を使えと言うんじゃねえですけど、しっかりした機関に、せっかくやるんじやったらきちっとやって、できるだけスケジュールに従ってやってもらいたいんですけど、その点はちょっとお願いしときます。

○榮財政課長 今回の委託事業につきまして、実は明日、成果品の納入と一緒に、具体的な内容につきまして説明を受けるといったような機会を設けております。

○中西委員 34ページの電算管理費の委託料、1,976万9,000円のこの減の理由についてお尋ねをしたいと思えます。

○行正デジタル推進課長 マイナンバーカードを用いましてマイナポータルから申請した子育てとか介護の手続を庁舎内にあります基幹システムと連携するものになります。

当初、2,651万円を見込んでいたんですけども、実際には現行サーバーの空き領域にシステムを構築するということで、実際に物理的なサーバーを導入しなかったということと、あとシステム間の連携を、自動ではなくて半手動ということで、そのあたりで経費の削減をしたということで、今回削減させていただいております。

○森本委員長 ほかに、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲が38ページ、2款総務費、6項監査委員費から67ページ、最後、14款予備費までの範囲です。

○石原委員 38、39ページの監査委員費、13節委託料、作業の委託料が減額となっておりますけれども、こちらについてお聞かせください。

○岡監査委員事務局長 当初見込んでおりました事業というか、委託を、監査委員さんとの相談で取りやめたもの等による減でございます。

○石原委員 その2つ下の19節の負担金についてはどうなのでしょう。何か当初の予算がそのままほぼ減となっておりますけれども。

○岡監査委員事務局長 中国都市監査委員会の負担金につきましては、これは総会等への出席の負担金でありましたが、コロナで中止になりましたので、これが不用となりました。あと、その下の県都市監査委員会負担金がありますが、これは総会で残余金等がありまして、そちらで回りそうだとということで減額となったものによるものであります。

○森本委員長 ほかにありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、補正予算書7ページをお開きください、総務費が残っていましたので。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、8ページを開いてください。第4表地方債補正、質疑のある方はどうぞ。

○中西委員 この総務費の徴税費の地図訂正登記業務ですが、これはたしか補正で出てきたものだったかなと思うんですけども、こういうのはなかなか厄介なものなんですか、時間がかかるようなものなんですか。

○木和田税務課長 おっしゃいますように、こちら地権者との境界の立会い等で、協議に日数かかっているという状況で、詳しい案件というところまでは把握はしてないんですが、日数がかかっていると聞いてはおります。

○森本委員長 次の8ページ、第4表、質疑のある方、いいですか。

全体に質疑漏れはございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑漏れはないということで、それでは以上で議案第16号令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）のうち、総務関係の全ての審査を終了いたします。

***** 議案第1号の審査（後半） *****

続きまして、議案第1号令和5年度備前市一般会計予算の審査の後半部分を行います。

まずは、予算書14ページから所管別分類表は6ページをお開きください。

14ページ、1款市税から23ページ、12款地方交付税までを範囲といたします。

○尾川委員 15ページの歳入、市民税個人、法人、これ少し上がるとる言やあがるとると思うんですけど、あまり当初予算のほうにもぼっこう収入は書いていないんですけど、個人法人の税収の見込額というのは、どういう算定されて、その辺を説明してもらいたいんですけど。

それと、要するにこれ全体の滞納繰越しについても御説明願いたいんですけど。

○木和田税務課長 まず、個人市民税についてなんですけれども、こちらについて、コロナ感染対策もかなり進んでいるという状況から、これまでの実績に基づいて分析したんですが、給与所得者の所得がどうも上がっているようであるということから考えますと、そういったところで、給与なりが増えてきているのではないのかなというところで、当初見込んでいた所得よりも増えているので、それに基づいて個人市民税も増加となるような予想となっております。

それから、法人市民税なんですけれども、実際は主要企業さんにアンケートを取っている状況でして、その中からも保守的な御意見も多いんですけども、回答の内容が。また、当然ウクライナの関係で原材料費の高騰であるとか、そういった状況が続いているということで、法人につきましては減額の見込みで計算をしております。

○尾川委員 人口が減るとるでしょう。何か甘いかなあという感じがあるんですけど、給料も上がるいうたって、そんなに大企業だけがアップして、そう中小はどんなになるか、最終的にまだ分かってないんですけど、そういう懸念があるんですけど、まず個人のほうで、増える——増えるというほどじゃないですけども、もっと下がるかなという感じがあったんですけど、その辺の見込みというのは、人口減というのはそう気にはしてないんですけどか、その算出で。

○木和田税務課長 委員おっしゃいますように、こちらの今実績、去年の12月時点でこちら数字を把握しているんですけども、おっしゃるように、納税義務者、要は働いている方とか、納付の方につきましては、およそ2.5%減少しております。人口減が一番の問題、原因であるかと思いますが、逆にその2.5%減っておりますが、所得額で言いますと、若干ではありますが、0.8%程度増加に転じています。なので、1人当たりとなると、逆にかなり増になっているのではないかなという分析ですが、実際の数字はそういった形で表れてはおります。

○尾川委員 ちなみに納税義務者が分かれば、この算出と去年の数を教えてもらえたらと思います。

○木和田税務課長 どちらも、11月現在として、令和3年11月と令和4年11月で申し上げますと、令和3年11月が1万6,687名、令和4年11月が1万6,267名となっております。

○中西委員 納税義務者は年金受給者も含むということなんですか。

○木和田税務課長 年金の方、農業の方、全てを含んだ方の中での納税義務者ということになります。

○森本委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

24ページ、15款使用料及び手数料、1項使用料、1目総務使用料から43ページまで、17款県支出金、3項県委託金、1目総務費県委託金までを範囲として。

○尾川委員 23ページ、地方交付税、これもアップしとるんですが、どっちもね、特交も普通交付税も。そのあたり見方というのも教えてもらったら思って、榮財政課長の分析をお聞きした

いんですけど。

○榮財政課長 今回の令和5年度の当初予算につきましても、例年になるんですけども、国が示します地方財政計画に準じる形で、その傾向を踏みながら推計をいたしております。

今回国から示されておりますのが、地方交付税が前年度より、これは全国ですけれども、国レベルで1兆8千3億6千1百11万円ということで、これは前年度に比べて1.7%増ということを見込んでおります。

それから、逆に交付税のこれまで10年以上にわたりまして、国の税収がなかなか入りが悪いということで、臨時財政対策債というのを、交付税配る分の不足ということで、地方に発行してくださいということで、こちらのほうを発行してまいりましたが、これが前年度に比べまして、大幅に減少しております。

国レベルで申し上げますと、前年度から44.1%減の9,946億円の発行ということになっております。

今回、備前市で推計をいたしております。まず普通交付税につきましては、前年度が63億円、それから今年度が64億円を見込みまして、これが伸び率が1.6%ということで、国の1.7%と似通った数字にはなりました。こちらについては、国と同じだけ伸ばしたり下げたりするのかというと、そうではなくて、各自治体によりまして、公債費の発行額とか、そういったものが全く異なっておりますので、そういった個別の事情を積み上げて算定をいたしましたものが、たまたまこういう形になったということでございます。

それから、臨時財政対策債につきましては、これはもう国の発行に準じる形で、前年度から備前市では約60%、59.6%減の9,500万円を見込みました。普通交付税と臨時財政対策債を合わせた額が前年度に比べて約4,000万円減というような格好で、これだけ捉えますと、交付税関係では、普通交付税の関係では4,000万円の減かなと見ております。

それから、特別交付税についてなんですけど、令和3年度の決算額で申しますと、10億9,536万3,000円ということで、約11億円配分していただくことができました。令和4年度につきましては、まだ3月が確定をいたしておりませんので、恐らく来週になるのかなと見ておりますけども、これが入って幾らになるかなというところですが、予算では10億5,000万円を見ておりました。

このたびの来年度の令和5年度につきましては、11億円を見込むということで、その増要因といたしましては、今回、地域おこし協力隊等の隊員の増員ということを見込んでおったり、それからデマンド車両の運行を始めるということで、これについても市営バス事業と同じように赤字相当分の8割を交付税で算入をいただけるというような状況を踏まえまして、今回5,000万円増を見込んで約11億円という特別交付税を、一応予算の計上をさせていただきました。

○森本委員長 ほかに質疑のある方、43ページまででいいですか。

それでは、次の範囲を言わせていただきます。

44ページから18款財産収入、1項財産運用収入から49ページ、21款繰越金までを範囲といたします。

○中西委員 44ページ、財産貸付収入、建物貸付収入、どこの物件なんですか。

○岸本契約管財課長 建物貸付収入につきましては、和気看護学校の跡を貸し付けてあるのと、旧西鶴山公民館の跡を郵便局にお貸ししております。

○中西委員 明細は。

○岸本契約管財課長 明細につきましては畠田の郵便局が5万5,000円で、和気看護学校が2か所ありまして、14万2,750円と49万7,380円を予定しております。

○中西委員 同じ44ページ、不動産売払収入、ここで別紙1を見てもみますと、予算額が400万円とあるんですけど、大体どのあたりの物件を考えておられるんでしょう。

○岸本契約管財課長 どこというのはまだはっきりとは分かっておりませんが、持っているやつで売っていきたいということで、1件分400万円程度を見込んでおります。

○石原委員 46、47ページの繰入金、基金繰入金、振興基金繰入金はどの事業に充当されているんでしょうか。

○榮財政課長 振興基金繰入金につきましては、総額で6億2,878万3,000円の繰入れになっております。

内訳につきましてはですが、まず企業用地造成事業特別会計へ繰り出す繰出金の財源といたしまして、6,378万1,000円、それから浦伊部線の道路用地取得の財源といたしまして、1億211万2,000円、それから鹿久居島のまほろば管理道整備事業の財源といたしまして700万円、それから久々井の宅地造成工事に係ります道路整備の財源といたしまして2,600万円、それから東鶴山80号線新規拡幅工事、この財源といたしまして500万円、あと3つございます。宅地造成分譲事業特別会計繰出金といたしまして7,489万円、それから土地取得特別会計事業への繰出金といたしまして3億円、最後に測量調査設計委託料、道の駅に係るものがございますけども、こちらについて5,000万円。

道路新設改良事業であったと思うんですけども、こちらのほうに5,000万円、トータルで6億2,878万3,000円を充当いたしております。

○石原委員 道の駅5,000万円と言われましたけど、それがさっき訂正、道路の、じゃあないんですか。

○榮財政課長 失礼いたしました。備前片上駅前の用地の測量調査設計の事業でございます。

○石原委員 48、49ページのまちづくり振興基金繰入金も、どの事業に充当されておるのかという内訳を併せてお示しいただけたら。

後ほどで、できますれば、まちづくり応援基金や米百俵の基金の充当事業の一覧、出ていますけど、これらの基金も資料で明示していただけたら分かりやすくていいから、これ要望ですけれども。その2種類の基金の内訳、後刻で結構ですので、委員長お願いいたします。

○**榮財政課長** 後刻用意させていただきます。

○**森本委員長** 次行かせていただいているんですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、48、49ページ、一番下の22款諸収入から最後まで、59ページの市債まで、23款市債まで。

○**石原委員** 54、55ページの雑入、31節総務費雑入、上から5つ目ですか、派遣職員給与費負担金で、大きな金額ですけども、こちらについて内容等をお聞かせください。

○**春森総務課長** 社会福祉協議会派遣費が約380万円ぐらいです。文化芸術振興財団が現在の見込みで2,700万円ぐらいです。自治体国際化協会派遣に関する助成金が380万円ぐらいとなっております。

○**石原委員** フランスですかね、クレアさん、そちらはせんだっての委員会でもあったんですけど、財団のほうから2,700万円負担金として歳入されるということ。

○**春森総務課長** 市からまず、市の職員として給料が出ることになつてはありますが、多分産業の予算決算審査委員会でお話があったと思うんですが、負担金として払った中に人件費相当分もあるので、そちらのほうから返ってくるという形になります。向こうとしては、向こうが払うべきものなので返す形なるんですが、そちらは一旦負担金として出すと、ちょっと分かりにくい形になるんですが、そういった流れになつてはいます。

○**中西委員** 54ページの総務費雑入、別紙の2を見ていまして、支障移転費用補償金、デジタル推進課300万円というのがあるんですけど、一度私は聞いたことがあるかも分からないんですけども、もう一度教えていただけませんか。

○**行正デジタル推進課長** 国道2号伊部駅前工事で、現在電線を地中化する工事を行っております。そちらに市が設置しております、自設線、光ファイバーがございます。こちらの移転工事に係る費用を国から100%負担が入ってくるという内容になります。

○**中西委員** このお金は、いつ頃ぐらいまでついてくるのか、ついてこなくなれば工事が終わったということになると思うんですけど、それは幾ら、何年度ぐらいまででしょうか。

○**行正デジタル推進課長** 今年度いっぱいと考えています。移転する前の2号の上空に架けている光ファイバーについては、来年度撤去するというにはなりますけども、負担金としましたら今年度いっぱいとなっております。

○**森本委員長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に入らせていただきます。

62ページをお開きください。所管別分類表は8ページです。

62ページの2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から71ページの2款総務費、1項総務管理費、5目財産管理費までを範囲といたします。

○石原委員 62、63ページの総務管理費、一般管理費、このうち想定をされておられるフランス・パリへ派遣される職員の方についての人件費といたしますか、経費はどれに当たるのでしょうか。

○春森総務課長 63ページの3、職員手当中の上から5番目の特殊勤務手当、こちらの1,020万円ぐらいの経費になります。

○石原委員 住居もろもろ包含されてということ。

○春森総務課長 在勤の基本手当であったり、配偶者手当であったり、住居手当、それから子供さんの手当も全部一括した形で取っております。

○中西委員 66ページ、会計管理費、役務費、手数料、今年度増えていますので、この理由についてお聞かせください。

○三宅会計管理者 会計課では、NTTが提供しているISDN回線を利用した資金決済サービス、それから口座振替サービスを利用していますが、令和5年12月にNTTが提供しているISDN回線の提供が終了されます。ほかのサービスに切替えに係る初期費用、それから月額利用料が増額となったものです。

○中西委員 NTTがISDNの中止をするということですが、そうなってくると何か代替のものがあるのでしょうか。例えば光ファイバーだとかがあれば。

○三宅会計管理者 同じようにNTTが提供する別のサービスがありますので、そちらを利用するということになります。

○中西委員 それはどういう回線を使うのでしょうか。

○三宅会計管理者 1つは、委員が言われるようなインターネット回線なんですけれども、こちらが光なのかどうかは確認をしてないんですけど、同じような形なるかと思えます。それからもう一つは、LGWAN回線を使ったサービス等予定しております。

○中西委員 LGWAN回線というのは何なんですか。

○三宅会計管理者 LGWAN回線というのは、公共が使う専用の回線であります。

○石原委員 巻末に給与費の明細書がございまして、197ページから見ますと、一番上のところで、本年度というところ、特定任期付職員、任期付職6名となっておりますけれども、大幅な機構改革も今後なされるんでしょうけれども、この方々はどういう役割を担われるのかということでこっちは採用されておるのか、そのあたり分かればお聞かせいただければと思います。

○春森総務課長 特定任期つきというのは、法律が別に一般の職員とは違いましてありまして、そちらの法律に基づいて雇用した形になります。重要な専門である仕事をやっていただく形とか、過去の実績がある方々を採用するときに、この特定任期つきという採用が全国の自治体で使われておりまして、その形態になります。一例を挙げますと、総務課ですと弁護士さんを採用したりといった形になっておりますので、そういった方々を雇用するのにこういった制度を利用しております。

○石原委員 例えば教育分野で、今日じゃなくて、この間聞いとかんとあかなんだということですね。

○春森総務課長 教育分野のものにつきましては、教育分野の方々が教育の専門性を考えた要項等で一応公募した形で応募して、特定任期の場合は選考という方法がございますので、試験ではなくて、選考という方法で選択する方法で採用された方もおられたりします。

○石原委員 現時点で6名見込まれるわけで、じゃあ教育委員会除くところで、一般管理費というか、総務で管理される方は、さっき言われた総務のところの弁護士さんお一人ということで、令和5年度はよろしいんでしょうか、現時点でのこの予算。

○春森総務課長 当初予算要求時の段階においては、総務課分につきましては1名分となります。

○尾川委員 69ページ、総務管理費、補償補填及び賠償金、市有自動車事故損害賠償金で1万円、それと管理者責任損害賠償金1万円、これについて説明してもらいたいですけど。

○岸本契約管財課長 市の自動車で事故した場合に対応するもので、今回は座持ちということで計上させていただいております。

管理者責任賠償金につきましてはですが、これについても内容は今すぐ出てこないんですけど、座持ちで取らせていただいとります。

○尾川委員 市有自動車の事故賠償金は、市役所全体の自己責任の賠償金を上げとるわけですか。1万円で済むんかな。

○岸本契約管財課長 全体的に保険で対応されるんで、取りあえずは座持ちで持たせていただいております。

○尾川委員 意見としてね、やっぱり最初から事故を起こすんで、座持ちもくそもねえと思うんで、最初からそこは市長の考え方じゃろうけど、一般的にはそんなことは、それは事故あっても困るんじゃけど、会社でも。最初から保険は掛けとるけど、事故賠償金の金額というのは、具体的に数字上げたりするというのは、あまりないと思うんで、それでちょっと気になったということと、それからまた教えてもらいたいんじゃないけど、管理者責任、賠償責任というんが、管理者といたらどういう範疇かというのが、何となしにイメージ分かるんですけど、市長、副市長ぐらいまでか、それとも課長クラス、部長クラスまで入るんか、それがびびって仕事できんようになって困るし、その辺のことも確認したかったんですよ。

○中西委員 68ページの11節の需用費、光熱水費、昨年と比べると、約1,000万円ほど増えているわけです。電気料金の高騰というところになるんでしょうけど、必要なものは、支出をしなければならぬということになるんですけども、このあたり、施設管理を行われる担当課としては、それぞれのセクション、あるいは職員にどのような手だてを取っておられるのか。

○岸本契約管財課長 電気代の高騰によりまして金額が上がっております。それで、どのような対応というか、市の職員のほうには、夏、冬については省エネするように伝えておりますので、

それなりに対応していただいている状況でございます。

○**中西委員** 11月定例会の中でも指摘をさせてもらったところで、契約管財課としても何らかの通知を出したかどうか、教育委員会なんかもそういう対応を取っておられたようなので、そういう対応を取られたのかどうか、まずお伺いをしたいと思います。

○**岸本契約管財課長** 全職員に対して行っております。

○**中西委員** 11月議会の中で明らかになりました、新電力との関係が使わなくて、今は保障制度みたいところでやっている、だから多少高くなっていると。しかし、契約が令和5年度の秋に切れるということになりますから、このところはどのような手当てを打っておられるのでしょうか。

○**岸本契約管財課長** 新電力が終わりまして、最終保障という契約に今入っているところですが、新しい4月からは中国電力と契約を結ぶ予定にしております。

○**中西委員** 電力料金、ここで全部比較をしてとは言いませんけども、どうなのでしょう、かなり高いのでしょうか。

○**岸本契約管財課長** 電力料金については高くなっております。大体1.2から3倍ぐらいにはなっているんじゃないかなと思います。

○**中西委員** あと、大阪ガスのガスを使っていましたよね。そちらはどうなってますでしょう。

○**岸本契約管財課長** ガスについても、燃料が高騰はしております。

○**中西委員** 影響額は、ガスはどのくらいこの光熱費の中であるのでしょうか。

○**岸本契約管財課長** 電気が約7割で、ガスが3割というところになっております。

○**森本委員長** ほかにいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、74ページの1項総務管理費の9目電算管理費から93ページ、6項の監査委員費までを範囲といたします。

○**尾川委員** 77ページ、総務管理費、委託料で機器設置委託料、118万4,000円について説明してもらいたいんですけど。

○**行正デジタル推進課長** 来年度社会実験としまして、モバイルバッテリーの貸出事業というのを検討しております。

この内容につきましては、現代の生活におきましては、スマートフォンが欠かせないものとなっております、それに伴いましてモバイルバッテリーの需要も高まっております。

そうした中、本事業におきまして、社会実験としまして、期間を限定の上、モバイルバッテリーをレンタルする、レンタルできる貸出スタンドというものを市内の公共施設等に設置しまして、有効性の検証や問題点を把握することで、今後の本格導入を検討する上での判断材料としたいと考えております。

○**尾川委員** 何か所ですか、ある程度具体的な場所が分かれば。

○行正デジタル推進課長 今現在検討しておりますのは市役所1階のロビー、それから市民センター、地域公民館、市立病院、あと市内のスーパーに設置を検討しております。

○中西委員 貸出しの条件にマイナンバーなんかがついていますか。

○行正デジタル推進課長 マイナンバーカードの条件はついておりません。

○尾川委員 公共施設ということで説明あったんですけど、何か所か。

○尾川委員 そうそうそうです。

○行正デジタル推進課長 先ほどのモバイルバッテリーの貸出事業の設置箇所数ですけども、現在交渉中のものも含みますので、そこも含めると20か所程度と考えております。

○中西委員 マイナンバーをひもづけできない理由は何なんでしょうか。

○行正デジタル推進課長 本サービスのスマートフォンに登載したアプリの登録者が借りられるサービスで、有料のサービスとなっております。ですので、マイナンバーカードのひもづけはしておりません。

○中西委員 じゃあ、スマートフォンはマイナンバーがひもづけされているんですか。アプリにされているんですか。

○行正デジタル推進課長 スマートフォンへのマイナンバーのひもづけとかも必要ないと考えております。

○森本委員長 ほかに質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、156ページの8款土木費、6項住宅費、2目の住宅新築資金等貸付事業費から最後まで、195ページの14款予備費まで範囲とします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出を終了させていただきます。

次、予算書10ページをお開きください。所管別分類表は1ページです。

第4表地方債、質疑のある方どうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体に質疑漏れ等はないでしょうか。

○石原委員 すいません、一昨日の予算決算審査委員会の中の教育関係のところでお尋ねをした際に、今日こちらで、財政当局へお尋ねをということで、先行取得した土地の処分についてなんですけれども、先週の委員会の土地取得特別会計の当初予算の審査では、もう委員会では可決をされたところなんですけれども、一昨日2か所の土地のうち1か所、東片上用地を保健体育費の中から買戻しということで、当該用地を1,650万円で買戻すと、グラウンド整備のためにという予算だったんですけれども、振り返ってみますと、東片上用地、2回目の提案で可決をされたわけなんですけれども、そのときの取得に係る予算が1,000万円だったところを、一般会計で買戻す際、1,650万円という手続というか、その処分のされ方というか、そののとこ

ろどうなのかな、僕もそんなに経験の中で先行した土地を買い戻すケースってそうそうなかったもので、そのあたりどうなのかなと思いましたんで、お聞かせいただければと思うんですが。

○岸本契約管財課長 土地取得特会で買わせていただいた東片上の土地につきましてですけど、交渉していく中で、不動産鑑定を取りまして、それを参考に交渉していったところ、おおむね1,650万円を見込んでおります。当初が1,000万円というところだったんですけど、農地につきましては大体通常宅地とかですと、固定資産の評価額を参考に、ある程度の価格を決めて持っていくんですけど、農地の場合はあまりにも低いんで、なかなかその固定資産の評価が参考にならないというところもあって、一般的な農地のやり取りで、反当幾らというようなところを見込みまして、最初は計上させていただいたんで、多少差が出てしまったというところがございます。

○石原委員 そういうときに差は幾らでも発生してもええものなんですか、会計の処分のされ方で。であるならば、僕も財政的なことが詳しくないですが、土地取得特会で追加なりの補正なりされて、取得をした後に一般会計で買い戻すのが本来なのかなあという捉えでおるんですけども、そのあたりは別段、さっき言われたような事情があれば、フリーに一般会計のほうで少し実情を反映した割高な予算で買い戻すということはもう問題ないということで、よくあることということでよろしいんですか。

○岸本契約管財課長 取得につきましては、土地取得特会の範囲の全体の中で買わせていただいております。

ある程度決まった金額で一般会計で買戻しをしていただいくような形になります。

○石原委員 総務部長、それは至極当然真つ当なことということでよろしいんですかね。

○今脇総務部長 土地取得特会の総額の中でやりくりができませんか、ほかの土地についても、例えば安く買うところがあった場合、その余剰金ができるというわけなので、その予算の範囲内でその総額の中でやりくりができるので、今回はこれでいけるということです。

○石原委員 じゃあ、ある土地を先行取得という形で、あちらの会計で取得します。具体的な提案もあるじゃないですか、この何平米をこれだけの金額で。じゃあ、そのもろもろの状況を鑑みたくて、その土地特会の予算があれば、その中で何というんですか、当初見込みは1,000万円だったけれども、増額をして取得をする、それをその相場で一般会計が買い戻すということは、もうそれでええんのですと言われりゃ、納得せざるを得んですけど、何か違和感を大いに感じるんですが。

○今脇総務部長 土地取得特別会計に限らず、一般会計におきましても、ほかのところから流用という形で、予算額以上に支出をするという場合はございます。

○石原委員 さっき幾らかお尋ねがあったマイナンバーカード取得が条件のやつは、こちら今おられる総務部の中ではさほどないとは思いますが、先ほどやり取りの1つ、2つありましたけれども、ないということでよろしいですか、ほかには。確認だけさせてください。

○今脇総務部長 総務部の中ではそういった事業はございません。

○中西委員 前段の総務の関係の中で、企画のところ、71ページの報酬と給料、企画では結局、会計年度任用職員と一般職、これそれぞれ何人になるのかというのがよく分からないと。

○春森総務課長 会計年度任用職員はこちらでは分かりませんが、職員の給料は、3人分です。前年と比較されるのであれば、前年が2人であり、今年度が3人になっているため、前年から見ると増額になっていると。

○中西委員 どうしてこのところは、担当課の課長が分からないのでしょうか。担当課の課長とすれば、自分のセクションをどう守るのか、自分の仕事をどう確保するのかということを、私なら考えますけども、2人なのか3人なのか分からないというのはどういう理由になるのでしょうか。

○春森総務課長 ちょっとやり取りの部分、企画費の中にほかの、今回のものについてはふるさと納税の担当部署で予算としては取っとります。その関係で、ただ企画費というのが、いろいろな企画の関係で見られたときに、自分のところのイメージがなかったんだと思います。実際としては、予算上いろいろな科目の一般管理費の中にも企画の部門の人もおられたりしますんで、事業によってはですね。今回の本年度の予算については、昨年度までが企画費の中のふるさと納税担当2名がなっていたのを3名に今増員されていますので、今年度中に、来年度の分も当初も今3人で見込んでいう形になります。その辺がイメージとしては担当が分かってなかった部分があると思います。

○尾川委員 総務部長にお願いなんですけど、要は人員がよう把握できてないというて、どうも何かそれでこっちに聞いてくれえ言うてというような話で、一般的には総務部で人員のことは全部把握できるとするわけですね。要は今すぐ出せというんじゃないんですけど、任用職員がどのくらいおるのか、今度組織はまた相当変わるから、変わった後でええですけど、確定してから何人、どういう構成になつとるかというのを、出してもらおうと思うんですけど、明確に示してほしいんですけどね。

○今脇総務部長 課ごとということでしょうか。

○尾川委員 課ごとです。

○春森総務課長 イメージとして、会計年度任用職員も含めてなんですか。

○尾川委員 できるだけ細かく分けてもらいたい。要するに雇用形態というか、その種類によってどういう形態になつとんかというのが、こっちとしたら、特に会計年度任用職員とか非正規というか、そういう数値を一遍把握してえ思うて思よんです。

○春森総務課長 先に今思いをお聞きしたんで、正職員は一般的にすぐ出せるとは思いますが、会計年度任用職員というのは、時間数がフルタイムでない方もいたりするので、それを何人分とカウントするとかがルール化ができてない部分がございますので、その部分については検討させていただけたらと思います。正職の分につきましては、人数把握としてそれなりにできておりま

すので、お願いいたします。

○尾川委員 任用職員が今いろいろな雇用形態があると思うんですけど、それはえいやでやって、やっぱり大体何時間雇用、あるいはまた期間もあると思うんですけど、ある時点でどういう、えいやで決めてもろうたらええですわ。条件だけきちんと明確にしてもろうとったら。

○春森総務課長 一応課ごとでないのであれば、定数調べみたいな形で出ているのですが、そちらをより詳しくできるのであれば、再調整させていただいて、ただし先ほど言いましたように、人員数、実際の1人当たりの分とその分の数値では一致しない場合もあると御理解いただく形で、一言注意書きをさせていただく形になりますが、お願いいたします。

○尾川委員 仕事と人がどういう関係かが知りてえ、私は。任用職員が何人おるというんじゃないしに、そのこのセクションに何人おるということが、それが今言う短い長いあるかもしれん。あるいは、短期間で何か月だけじゃというんだって、例えば4月1日なら4月1日で3時間じゃと、あるいは4時間じゃと、3時間なら1人と、4時間でも1人、あるいは倍になったら2人を考えるとか、そういうような一つの物差しをつくってもろうて、仕分してほしいんですけど。要はセクションごとの任用職員がどのくらい構成しとんかというのが把握したいんです。

○春森総務課長 結論としては、検討させていただきますになりますが、取りあえず、会計年度任用職員というのは、担当課ごとで採用されており、総務課が一元管理されたものではないので、その辺がどの辺までできるかを確認させていただいて、対応させてください。

○尾川委員 そこが私らは皆目分からのじゃ。備前市で採用して、そういう雇用形態が違う、あるいは任用が違うても、やっぱり総務部が人事管理を握っとるはずじゃから、全部把握しとかにゃいけんのじゃねん。それを勝手に雇用契約してもええんかなあと取れるわけじゃ。

○春森総務課長 行政委員会には行政委員会の裁量権があつたりしますので、そういった部分で会計年度任用職員等は行政委員会が所管されていたりします。病院事業も当然、病院事業という独立した組織ですので、その辺について細かい詳細な職務内容とかも、我々認識している部分がないので、検討させてくださいということで御理解いただけたらと思います。

○森本委員長 以上で議案第1号令和5年度備前市一般会計予算のうち、総務関係の全ての審査を終了いたします。

○榮財政課長 前段の補正予算の12号の中で、石原委員さんから岡大の抗体検査の研究費の財源の内訳ということで御質問がありまして、数字を整理いたしましたので、訂正をかねてお答えをさせていただきます。

まず、歳出については、明日これは審査があると思うんですけども、当初1億210万円、予算を取っておりましたが、210万円を減額いたしまして、ちょうど1億円の予算になっております。

財源ですが、このたびのコロナの交付金で4,973万2,000円、こちらを充当いたしまして、残りはまちづくり応援基金が5,026万8,000円充当されたままとなっております。

た。訂正をさせていただきます。

○森本委員長 本日の委員会閉会に当たり、あしたの委員会について皆様にお諮りいたします。

委員より本委員会に付託された議案の採決については、週明け20日月曜日の予備日に行いたい旨の希望を聞いております。つきましては、20日月曜日の午後より当委員会を開催し、4議案の採決を行うことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

なしということで、それでは採決は20日月曜日に行います。

開会時間については、あしたまたお知らせいたします。午後からですが、時間はまたあしたお知らせいたします。

あした17日金曜日は、午前9時30分から厚生関係の審査を行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、これをもちまして予算決算審査委員会を閉会いたします。

遅くまでありがとうございました。

午後6時51分 閉会